容量市場

業務マニュアル

実効性テスト 編

(対象実需給年度:2027年度)

2025年1月30日 第1版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点	日付	
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025年1月30日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4		
1.1	本業務マニュアルの構成・・・・・	11		
1.2	本業務の対象となる電源等・・・・・	11		
第2章	電源等リスト登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12		
2.1	電源等リストの登録手続き・・・・・	13		
2.2	電源等リストの変更手続き・・・・・	34		
第3章	実効性テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39		
3.1	実効性テスト前手続き・・・・・	40		
3.2	実効性テストの実施・・・・・	45		
3.3	実効性テスト後手続き・・・・・	58		
Appendiz	x.1 様式一覧 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	••••• 74		
Appendix.2 図表一覧······ 88				
Appendix.3 業務手順全体図 ······ 90				

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実効性テスト編(以下、本業務マニュアル)は、電力広域 的運営推進機関(以下、本機関)の業務規程(第32条の5)の規定に基づき作成さ れた文書です。

本業務マニュアルは、対象実需給年度2027年度の容量市場に参加する事業者が実施 する手続きのうち、発動指令電源の実効性テストに必要な手続きや容量市場システ ム¹の操作方法²が記載されています。

本業務マニュアルが対象とする事業者は、電源等の区分が発動指令電源の電源を登録 する事業者であり、以下の①~③を想定しています。

①メインオークションで容量確保契約書を締結済の事業者
 ②メインオークションの非落札者で追加オークションに参加する事業者(※1)
 ③追加オークションから参加する事業者(※1)

以下の文章では、①を「発動指令電源提供者」、②~③を「容量市場へ参加予定の 事業者」といいます。また、①~③を総称して「対象事業者」といいます。

※1:対象実需給年度 2027 年度向けの追加オークションに参加するにあたり、予め 提供できる容量を評価するために 2025 年度の実効性テストに参加する必要が あります。なお、追加オークションの開催有無は、2026 年 4 月頃に需給状況 を踏まえて判断することになります。

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション(メインオークション、追加オークション(調達またはリリースオーク ション)) への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を 備えた情報処理システムです。当該システムの利用にあたっては「容量市場システム利用規約」を遵守して頂く必要があります。 ² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュア ルを参照してください。



図 1-1 実効性テストの手続きの全体像とスケジュール



実効性テストに係る手続きは、電源等リスト登録、実効性テストで構成されます。

図 1-2 実効性テストに係る手続き

対象実需給年度 2027 年度の実効性テスト業務のスケジュールは、以下の通りとなります。

項目(参照箇所)	時期	概要
属地一般送配電事業者と	·発動指令電源提供者	オンライン機能(簡易指
のオンライン指令による	2025 年 2 月 14 日まで	令システム、専用線オン
性能確認試験結果の提出	・容量市場へ参加予定の	ライン)を具備し、通信
(【事前準備についての注	事業者	対向試験を実施したうえ
意事項】)	2025 年 6 月 20 日まで	で、属地一般送配電事業
	(実効性テスト実施時期	者とのオンライン指令に
	が夏季の場合)	よる性能確認試験結果を
	2025 年 11 月 20 日まで	容量市場システムに提出
	(実効性テスト実施時期	していただきます。
	が冬季の場合)	
電源等リストの登録	2025年2月末日まで	電源等リストを作成し、
(『2.1 電源等リストの登		容量市場システムに提出
録手続き』)		していただきます。
電源等リストの修正登録	2025年4月末日まで	電源等リストの審査結果
(『2.1.4 電源等リストの		が不合格で修正が必要な
審査結果の確認(不合		場合に、修正登録を行っ
格)』)		ていただきます。

表 1-1 実効性テスト業務の主なスケジュール

実効性テスト前の電源等	2025年5月末日まで(実	以下に当てはまる場合は
リストの変更	効性テスト実施時期が夏	実効性テストの実施前に
(『2.2 電源等リストの変	季の場合)	電源等リストを更新して
更手続き』)	2025 年 10 月末日まで	いただきます。
	(実効性テスト実施時期	・電源等リスト登録時に
	が冬季の場合)	新設電源として登録した
		電源で未確定であった内
		容が確定した場合
		・既設電源において地点
		特定番号やBGコードが
		変更となった場合
実効性テストの実施希望	2025年4月末日まで	属地一般送配電事業者に
時期の連絡		対し、実効性テストの実
(『3.1.2 実効性テスト実		施希望時期をメールで連
施時期の調整依頼』)		絡していただきます。
実効性テストの実施時期	2025年6月20日まで	一般送配電事業者から実
の登録		効性テストの実施時期の
(『3.1.4 実効性テスト実		調整結果が通知された日
施時期の登録』)		からすみやかに、容量市
		場システムに実効性テス
		トの実施時期を登録して
		いただきます。
経済DRの申し出	発動実績の報告期日まで	電力需給ひっ迫注意報、
(『3.2.2 発動実績の算		警報の発令期間中、また
定』)		は広域予備率低下に伴う
		供給力提供通知がされた
		日に経済 DR を実施した場
		合において、ベースライ
		ン算定から経済 DR 実施日
		の除外を希望する場合、
		申請を行っていただきま
		す。
再テストの登録	同時期に再テストを希望	実効性テストの再テスト
(『3.2.3 再テスト実施有	する場合:実効性テスト	を希望する場合、属地一
無の検討』)	の1週間後まで	般送配電事業者への再テ
		スト希望時期の連絡およ

	別時期に再テストを希望	び容量市場システムへの
	する場合:実効性テスト	登録を行っていただきま
	の2か月後まで	す。
発動実績の報告	2026年3月10日まで	電源または需要抑制のベ
(『3.3.2発動実績の報		ースライン・発動実績の
告』)		登録を行っていただきま
		す。
発動実績の修正登録	2026年4月10日まで	発動実績に関する審査結
(『3.3.4 発動実績に関す		果が不一致で修正が必要
る審査結果の確認(突合		な場合に、修正登録を行
結果不一致)』)		っていただきます
実効性テスト後の電源等	2026年10月~	実効性テスト後に電源等
リストの変更	2028年2月10日	リストを変更したい場
(『2.2 電源等リストの変		合、変更した電源等リス
更手続き』)		トを容量市場システムに
		再提出していただきま
		す。

実効性テストに係る具体的な手続きに関しては第2章以降に記載しておりますが、 本章で説明する以下の1.1~1.2も確認してください。

- 1.1 本業務マニュアルの構成
- 1.2 本業務の対象となる電源等

【事前準備についての注意事項】

注1:電源等リストの登録について

容量市場へ参加予定の事業者が電源等リストを登録申込する場合、参加登録 (事業者情報、電源等情報、期待容量)を事前に実施してください。参加登録 を行っていない事業者は、参加登録を行った上で、電源等リストを 2025 年 2 月末日までに登録してください(「容量市場業務マニュアル(メインオークシ ョンの参加登録・応札・容量確保契約書の締結編)(対象実需給年度: 2027 年 度)」参照)。

注2: オンライン機能(簡易指令システム、専用線オンライン)の具備について 発動指令電源提供者は、2025年2月14日までに、オンライン機能(簡易指 令システム、専用線オンライン)を具備し、通信対向試験を実施したうえで、 属地一般送配電事業者とのオンライン指令による性能確認試験結果を容量 市場システムに提出する必要があります。提出の手続きに関しては「容量市 場業務マニュアル(メインオークションの参加登録・応札・容量確保契約書 の締結編)(対象実需給年度:2027年度)」をご参照ください。 なお、容量市場へ参加予定の事業者の性能確認試験結果提出期限について は、実効性テストの実施時期が夏季の場合は2025年6月20日、冬季の場合 は2025年11月20日までとなります。

新たに簡易指令システムの設置を属地一般送配電事業者へ申込する対象事 業者は、簡易指令システムの仕様について、需給調整市場へ参加予定があ る場合または余力活用に関する契約を締結予定の場合には、需給調整市場 用を選択してください。

ただし、既にオンライン機能(簡易指令システム、専用線オンライン)を 具備している対象事業者で、最新のエネルギー・リソース・アグリゲーシ ョン・ビジネスに関するサイバーセキュリティガイドラインに準拠してい ることがわかる書類(電源I'の契約書の写し等)を提出した場合は、オ ンライン指令による性能確認試験結果の提出は不要です。

前年度までに性能確認試験結果を提出済みの電源は、その内容に変更が無い 場合、再度提出する必要はありません。

また、前年度までに最新のエネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジ ネスに関するサイバーセキュリティガイドラインに準拠していることがわか る書類を提出済みの場合においても、当ガイドラインの改定等が無い場合は 再度提出する必要がありません。なお、当ガイドラインが改定された場合は、 最新のガイドラインに準拠していることがわかる書類を改めて提出する必要 があります。

通信対向試験の結果、本機関がオンライン機能(簡易指令システムを含む) の設置が完了していないと判断した場合、または、本機関からのオンライン 機能の機能具備の求めに応じない場合、当該事業者が登録した発動指令電源 は、市場退出(全量退出)となります。ただし、一般的に必要とされる工期 を踏まえた適切な時期にオンライン機能(簡易指令システムを含む)の設置 依頼をしているものの、設置工事が遅延している場合に限り、締切日以降実 効性テストの実施前までに通信対向試験を完了させることが認められます。

注3:記録型計量器・自動検針が未対応の地点について 未対応の地点については一般送配電事業者によってプロファイリングされ た計量値を用いて実績評価を行うか、その地点を電源等リストから削除す るかのどちらかを対象事業者に選択していただきます。 電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実効性テスト 編 第1章 はじめに

1.1 本業務マニュアルの構成

本業務マニュアルにおける章の構成は以下の通りです(図 1-3参照)。



図 1-3本業務マニュアルの構成(第1章除く)

電源等リストの登録および変更については第2章をご覧ください。また、実効性テストの実施や発動実績の登録を行う場合は第3章をご覧ください。

1.2 本業務の対象となる電源等

本業務の対象となる電源等区分は、発動指令電源です。

第2章および第3章の手続きでは、以下の2種類の電源を対象としています。

- ・実需給年度が2027年度のメインオークションで容量確保契約書を締結済の発動指 令電源
- ・容量確保契約書を締結していない発動指令電源(実需給年度が2027年度のメイン オークションで非落札の電源、追加オークション等から参加予定の電源)

第2章 電源等リスト登録

本章では、電源等リストの登録に関する以下の内容について説明します(図 2-1 参照)。

2.1 電源等リストの登録手続き



図 2-1 第2章の構成

注1:実効性テスト時の電源等リストに登録するリソースについて
同年度に登録する需給調整市場のリスト内のリソースと重複することは可能です。
ただし、各市場等への参加にあたっては、それぞれの市場等が求める要件を満たしていただく必要がありますので、十分ご確認ください。
なお、発動指令電源の実効性テストは、電源等リスト単位の期待容量を確定させることを目的としているため、調整力指令と重複があった場合でも、計量値に基づく実績で期待容量を評価します。
注2:FIT 送配電買取(特例③)の電源について
実効性テストへの参加は不可となります。容量市場ではリクワイアメントを適切に

達成していただく必要がありますが、実効性テスト断面において、上記電源については、発電計画の策定やインバランスの精算主体等が、一般送配電事業者に位置付けられているものとなります。

なお、FIT 買取期間が終了し、管理主体が発電事業者等に移管された場合や、バイ オマス混焼で、FIT 買取対象以外の部分(非 FIT 相当分)は、容量市場への参加が 可能となります。

2.1 電源等リストの登録手続き

本節では、電源等リストの登録手続きについて以下の流れで説明します(図 2-2 参照)。

- 2.1.1 電源等リストの提出依頼の確認
- 2.1.2 電源等リストの登録申込
- 2.1.3 電源等リストの審査結果の確認(合格)
- 2.1.4 電源等リストの審査結果の確認(不合格)



図 2-2 電源等リストの登録手続きの詳細構成

2.1.1 電源等リストの提出依頼の確認

本項では、電源等リスト提出依頼の確認について説明します(図 2-3 参照)。

2.1.1.1 電源等リストの提出依頼の受領



図 2-3 電源等リストの提出依頼の確認

2.1.1.1 電源等リストの提出依頼の受領

2025年1月下旬~2月中旬にかけて、電源等情報を登録した発動指令電源提供者(市場退出したものを除く)および容量市場へ参加予定の事業者へ、電源等リストの提出 依頼が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付されます。

対象事業者は、2025年2月末日までに電源等リストを提出する必要があります。

2.1.2 電源等リストの登録申込

本項では、電源等リストの登録申込について説明します(図 2-4 参照)。2025 年 2 月 末日までに、電源等リストを登録してください。

- 2.1.2.1 事前準備
- 2.1.2.2 電源等リストの作成
- 2.1.2.3 電源等リストの提出
- 2.1.2.4 電源等リストの登録の仮申込
- 2.1.2.5 電源等リストの登録の申込完了

2.1.2 電源等リストの登録申込			
2.1.2.1 2.1.2.2 事前準備 電源等リストの作成	2.1.2.3	2.1.2.4	2.1.2.5
	電源等リストの	電源等リストの登録	電源等リストの登録の
	提出	仮申込	申込完了

図 2-4 電源等リストの登録申込

2.1.2.1 事前準備

容量市場システムに電源等リストの登録申込をするために必要な書類(写しで可)を 準備してください。必要となる書類は、以下の通りです。

<提出書類の準備(電源)>

・電源等の名称

アグリゲートする発動指令電源の電源毎の名称を確認できる書類を提出してください。

必要となる提出書類

・発電事業届出書(様式1)
・電気工作物変更届出書(様式2)
 ・自家用電気工作物使用開始届出書(様式3)
・特定自家用電気工作物接続届出書(様式4)
・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了のご案内
・低圧配電線への系統連系協議依頼表
· 発電量調整供給兼基本契約申込書
のいずれか1点
新設電源の場合

・接続検討回答書(様式5)

- ・工事計画届出書(様式 6)
- ・低圧配電線への系統連系協議依頼表

のいずれか1点

·受電地点特定番号

受電地点特定番号を確認できる書類を提出してください。

必要となる提出書類

- ・発電量調整供給契約にもとづく受電地点明細表(様式7)
- ・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了のご案内
- ・売電検針票「購入電力量のお知らせ」
- · 発電量調整供給兼基本契約申込書
- いずれか1点

・電源種別の区分

- ・発電方式の区分
- ・設備容量

電源種別の区分・発電方式の区分(表 2-6『電源種別の区分と発電方式の区分に係る 注意事項』を参照)を確認できる書類を提出してください。

必要となる提出書類

・発電事業届出書(様式1)
・電気工作物変更届出書(様式2)
 ・自家用電気工作物使用開始届出書(様式3)
・特定自家用電気工作物接続届出書(様式4)
・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了のご案内
・低圧配電線への系統連系協議依頼表
・工事計画届出書
· 発電量調整供給兼基本契約申込書
のいずれか1点

・FIT 認定 ID

参加登録の時点で FIT 制度に基づく買取を受けている場合、電気事業者による再生可 能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(FIT 法)に定める認定発電設備の認定 ID(「FIT 認定 ID」)を確認できる書類を提出してください。

なお、2027年3月末日までに FIT 制度に基づく買取が終了する電源は 2025年度の実 効性テストに参加可能です。

必要となる提出書類

・再生可能エネルギー発電設備を用いた発電の認定について	(通知)	(様式
8)		

表 2-1 発動指令電源(電源)に係る提出書類一覧

	【凡例	u (,			: いずオ	いか1点を携
書紙 のたまに	必須書類		選択可能書類			
書類の名称 (全て写しで可)		バイオ ス比	-~ 率	電源等 の名称	受電地点 特定番号	電源種別 の区分等
発電事業届出書			1	0	1	0
電気工作物変更届出書		既設		0		0
自家用電気工作物使用開始届出書		電源		0		0
特定自家用電気工作物接続届出書		你		0		0
再生可能エネルギーの固定価格買収期間満了のご案内				0	0	0
低圧配電線への系統連系協議依頼書				0		0
発電量調整供給兼基本契約申込書			Ţ	0	0	0
接続検討回答書		新	\sum	0		
工事計画届出書		設電		0		0
発電量調整供給契約に基づく受電地点明細表		源		,	0	`'
売電検針票「購入電力量のお知らせ」					0	
再生可能エネルギー発電設備を用いた発電の認定について(通知) (FIT電源の場合)	0%1					
バイオマス混焼FIT電源が新たに買取上限を設定した場合において、当該変更 が認められたことが分かる書類(石炭とバイオマスの混焼を行っている設備が 実需給年度においてバイオマス比率を零とする場合、およびごみ焼却施設に設 置されるバイオマス発電の場合)		0% %	1			

※1: () 内に記載の場合に限る

※2:FITの適用を受けているバイオマス混焼設備に係る提出書類(変更認定通知書等) は、電源等リスト登録時点までにバイオマス混焼FIT 調達上限比率[%]を設定しない 場合、その時点では提出不要です。提出期限はFIT 制度上のスケジュールを勘案し別 途公表します。原則、2027年度開始までに提出が必要となります。 その場合、電源等リスト登録時点では、2027年度までに設定予定の比率[%]を予定バ イオマス比率[%]として登録可能です。

<提出書類の準備(需要抑制)>

・需要地点の契約者名(以下、需要家名)

需要家名を確認できる書類を提出してください。

必要となる提出書類

 ・需要家名、供給地点特定番号が記載されている書類(電気料金請求書、検 針票等)
 ・需要家との合意書

·供給地点特定番号

上記項目に係る書類を提出してください。

必要となる提出書類

・需要家名、供給地点特定番号が記載されている書類(電気料金請求書、検 針票等)

表 2-2 発動指令電源(需要抑制)に係る提出書類一覧

書籍の反称		必須書類	
音規02日が (全て写しで可)	需要家名	供給地点 地点特定 番号	
需要家名、供給地点特定番号が記載されている書類(電気料金請求書、検針票 等)	0	0	
需要家との合意書	0		

注1:書類提出のタイミングについて

発動指令電源の提出書類は、電源等リストの登録期限である 2025 年 2 月末日まで に提出してください。提出期限までに提出できない合理的な理由があると本機関 が認めた場合は、期限を延長することがあります。

注2:書類の提出方法について

書類の提出にあたっては、本機関に電磁的記録媒体(CD-R等)で郵送してください。

〒100-6607

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー7 階

電力広域的運営推進機関 容量市場参加登録係_2027_電源等リスト 宛 オ象実需給年度

注3:提出書類の代替について 提出書類については、本機関が登録項目の内容を確認できると判断した場合に限 り、本マニュアルで指定する書類以外で代替可能です。

注4:追加の提出書類の要否について

本機関が必要と判断した場合は、追加の書類を提出していただく場合があります。

注5:提出書類の雛型について

提出書類は、表紙および登録項目が記載されているページのみでも可能とします。

注6:提出書類のファイル名称について

ファイル名称の長さは50文字以下でお願いします(拡張子を含む)。禁則文字 や容量の制限(1ファイル4MBを超える場合には、ファイルを分割してください)があります。詳細は容量市場システムマニュアル※を参照願います。

※<u>https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html</u>
<全般> 「001 容量市場システムマニュアル はじめに」P.11

2.1.2.2 電源等リストの作成

電源等リストは EXCEL ファイル(様式 9) で作成します。電源等リストは本機関のホ ームページ(容量市場のページ³)に添付されている帳票をダウンロードの上、必要な 項目を入力します。

³ https://www.occto.or.jp/market-board/market/index.html

EXCEL ファイルには以下の表(表 2-3、表 2-4、表 2-5、表 2-6、表 2-7 計量・仕訳 区分

参照)に沿って、2027年度の時点で想定される発動指令電源の内訳情報を1計量単位 毎に記載してください。

なお、ファイルサイズが 4MB を超える場合、もしくは内訳が 10,000 件を超える場合 には、ファイルを分割し、提出してください。

作成した電源等リストのファイル名は「エリア_電源等リスト_事業者コード_対象実 需給年度_電源等識別番号_A 枝番(ファイルを分割して提出する場合のみ)_R 改訂回 数.xlsx」としてください。容量市場システムに登録されている事業者コード4桁、 電源等識別番号10桁を記載してください。

例) ファイルを分割しない(リストが1個のファイルになる)場合

東京_電源等リス	▶_0123_2	2027_01	23456789	_RO.xlsx
		∟		U
エリア	事業者 🗴	対象実	電源等	R 改定回数
	コード 常	需給年度	識別番号	※枝番は不要です。

例) ファイルを分割する(リストが2個のファイルになる)場合

•1個目	東京_電源等リスト_0123_2027_0123456789_A1_R0. xlsx
・2 個目	東京_電源等リスト_0123_2027_0123456789_A2_R0. xlsx
	事業者 対象実 電源等 A 枝番 R 改定回数 コード 需給年度 識別番号
	※枝番を付けてください。

No.	項目	留意点
1	実需給年度	容量市場へ供給力を提供する年度を記入
2	容量を提供する電源等の区	「発動指令電源」と記入
	分	
3	電源等リストの名称	電源等リストの名称を記入
4	(リスト単位の) 系統コード	電源等リスト単位の系統コードを記入
5	エリア名	系統コードの上1桁(以下参照)をもとにエリ
		ア名を記入

表 2-3 電源等リストの記載項目一覧(共通)

		参考:系統コードの上1桁
		1. 北海道 2. 東北 3. 東京 4. 中部 5. 北陸
		6. 関西 7. 中国 8. 四国 9. 九州
6	事業者コード	事業者コードを記入(容量市場システムに登録
		したコード4桁を記入してください)
7	住所	容量市場システムの事業者情報(担当者情報)に
		登録した住所を記入
8	事業者名	容量市場システムの事業者情報に登録した参加
		登録申請者名を記入
9	部署	容量市場システムの事業者情報(担当者情報)に
		登録した所属部署を記入
10	担当者名	容量市場システムの事業者情報(担当者情報)に
		登録した担当者名を記入
11)	電話番号	容量市場システムの事業者情報(担当者情報)に
		登録した電話番号を記入
12	メールアドレス	容量市場システムの事業者情報(担当者情報)に
		登録したメールアドレスを入力

表 2-4 電源等リストの記載項目一覧(電源)

No.	項目	留意点
14)	供給力提供区分	電源と記入
15	受電地点特定番号	発電量調整供給契約書に基づく受電地点明細表 を参照して、受電地点特定番号を記入 ・半角 22 桁で記入 ・受電地点特定番号が発番されていない新設の 場合は、「999999999999999999999999999999999999
<u>(</u> l6)	電源等の名称	 ・発電事業届出書 ・電気工作物変更届出書 ・自家用電気工作物使用開始届出書 ・特定自家用電気工作物接続届出書

No.	項目	留意点	
		の「発電所の名称」または「事業場の名称」を参	
		照して記入	
		・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了	
		のご案内	
		・低圧配電線への系統連系協議依頼表	
		の「契約名義」または「発電者名義」を参照して	
		記入	
17	号機単位の名称	名称を定めていない場合は号機単位の名称を任	
		意で記入	
		家庭用の低圧連系の電源の号機が存在しない場	
		合には、電源等リストの「電源等の名称」と同一	
		名称を入力	
18	所在地	電源等の所在地の住所を記入	
19	(個々の電源の)系統コード	個々の電源の系統コードを記入	
		個々の電源の系統コードを保有していない低圧	
		連系の電源の場合、低圧群コードを記入	
		系統コードが発番されていない新設電源は記入	
		不要	
20	電源種別の区分	・発電事業届出書	
		・電気工作物変更届出書	
		 特定自家用電気工作物接続届出書 	
		の「原動力の種類」欄を参照して記入	
		または、	
		 自家用電気工作物使用開始届出書 	
		の「電気工作物の概要」欄を参照して記入	
		もしくは	
		・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了	
		のご案内	
		・低圧配電線への系統連系協議依頼表	
		を参照して記入	
		電源の電源種別の区分は『表 2-6 電源種別の区	
		分と発電方式の区分に係る注意事項』を参照	
21)	発電方式の区分	・発電事業届出書	
		・電気工作物変更届出書	

No.	項目	留意点
		・特定自家用電気工作物接続届出書
		の「原動力の種類」欄を参照して記入
		または、
		 ・自家用電気工作物使用開始届出書
		の「電気工作物の概要」欄を参照して記入
		もしくは
		・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了
		のご案内
		・低圧配電線への系統連系協議依頼表
		を参照して記入
		電源の発電方式の区分は『表 2-6 電源種別の区
		分と発電方式の区分に係る注意事項』を参照
22	設備容量	・発電事業届出書
		・電気工作物変更届出書
		・特定自家用電気工作物接続届出書
		の「出力」欄を参照して記入
		 ・自家用電気工作物使用開始届出書
		の「電気工作物の概要」欄を参照して記入
		もしくは
		・再生可能エネルギーの固定価格買取期間満了
		のご案内
		・低圧配電線への系統連系協議依頼表
		を参照して記入
		単位は、0.1kWとし小数点第2位以下は切り捨て
		とする。
23	運開年月	西暦で記入
		例:2010 年 1 月→201001
24)	BG コード	2025年2月末日までに提出いただいた電源等リ
		ストの発電 BG コードを記入。(当該時点で記入
		可能な内容がない場合は、実効性テスト実施前
		までには記入ください)
		※FIT 特例③である場合、計量・仕訳区分がバイ
		オマス(混焼)FIT 分の BG コードは「XXXXX(X

No.	項目	留意点	
		大文字5桁)」を記入	
		※FIP 電源である場合、計量・仕訳区分がバイオ	
		マス(混焼)FIT 分の BG コードは「YYYYY(Y 大	
		文字5桁)」を記入	
25	計量・仕訳区分	表 2-7 計量・仕訳区分	
		に該当する場合のみ記入	
26	FIT 認定 ID	参加登録の時点で FIT 制度に基づく買取を受け	
		ている場合は、再生可能エネルギー発電設備を	
		用いた発電の認定について (通知) に記載されて	
		いる「設備 ID」を記入	
27)	特定契約終了年月	FIT 認定 ID を入力した場合、特定契約の終了年	
		月を西暦で記入	
		例:2026 年 3 月→202603	
28	予備	記入不要	
29	バイオマス比率[%]	バイオマス比率に小数点以下の数値がある場合	
		は小数点以下第一位まで(小数点以下第二位を	
		切り上げ)として記入してください。	
		※FIP 電源の場合も FIT 電源と同様に記入	
		予定バイナフィレ変	
		「上ハイスマム比学	
		へ比率[約]を変更りる場合で、天効性/ ヘト時に 予定バイオファレ索を使用する際は予定バイオ	
		」 アイス、ハルギを使用する际は」 アイス	
		※字雲絵在商前に FIT 制度に基づく買取が終了	
		オス前提で 実効性テスト時にけ FIT 分を非 FIT	
		分と見做して参加する場合は零を記入してくだ	
		さい。	
		FIT 調達上限比率	
		・バイオマス混焼で FIT 調達上限比率が設定さ	
		れている場合は記入	
		※具体例:2019年4月1日以降にFIT制度に基	
		づく買取契約を締結し、買取上限が設定されて	
		いるバイオマス混焼設備またはごみ処理施設で	

No.	項目	留意点	
		月単位での買取上限の設定を行う旨を申請した	
		場合	
30	バイオマス FIT・非 FIT ペア	・バイオマス混焼 FIT 調達上限比率または予定	
	フラグ	バイオマス比率を使用する場合は記入	
		・1 つの電源の発電実績が FIT・非 FIT に仕訳さ	
		れる場合、1 行ずつ別地点として記入した上で、	
		当該項目に同じ番号を記入する。	
		番号の順番は1,2,3…とする。	
		※FIP 電源の場合も FIT 電源と同様に記入	
31)	予備	記入不要	
32	特記事項	特記事項があれば記入	
		注1:1地点複数応札について	
		1計量単位内の中で、安定電源に加えて、発動	
		指令電源の1リソースとしても登録した場合	
		(※)は「1地点複数応札」と記載してください。	
		1計量単位内の中で、安定電源の応札容量を超	
		えた供給力を発動指令電源の1リソースとして	
		登録可能です。	
		※安定電源で、アセスメント対象容量まで供給	
		刀を提供してもなお、需給いつ迫時に発動指令	
		電源として追加の供給力を提供できる場合	
		注 2 : FIT バイオマス混焼の自己託送分について	
		計量・仕訳区分が「バイオマス(混焼)非	
		FIT 分」であるリソースが自己託送を行ってい	
		る場合は、自己託送分の発電 BG コードとあわ	
		せて「自己託送」と記載してください。	
		記載例)自己託送(発電 BG コード:XXXXX)	
		リソースの計量・仕訳区分が「バイオマス (混焼)	

No.	項目	留意点
		非 FIT 分」であっても自己託送を行っていない
		場合は記載不要です。

No.	項目	留意点
14	供給力提供区分	需要抑制と記入
15	供給地点特定番号	需要家名、所在地、供給地点特定番号が記載され
		ている書類(電気料金請求書、検針票等)を参照
		して、供給地点特定番号を記入
		・半角 22 桁で記入
		・供給地点特定番号が発番されていない新設の
		場合は、「99999999999999999999999 (22桁)」を
		記入
16	需要家名	・需要家名、所在地、供給地点特定番号が記載さ
		れている書類(電気料金請求書、検針票等)
		・需要家との合意書を参照し記入
17	所在地	需要家の所在地の住所を記入
18	電圧区分	低圧・高圧・特高のいずれかを選択
20	計量・仕訳区分	表 2-7 計量・仕訳区分
		に該当する場合のみ記入を参照
21)	予備	記入不要
22	特記事項	特記事項があれば記入

表 2-5 電源等リストの記載項目一覧(需要抑制)

表 2-6 電源種別の区分と発電方式の区分に係る注意事項

電源種別の区分	発電方式の区分	留意点
水力	一般(貯水式)、一般(自	次頁の注1~注2を参照してくださ
	流式)、揚水(混合揚水)、	1 °.
	揚水 (純揚水)	
火力	石炭、LNG (その他)、石	バイオマスの場合は、電源種別の区
	油、LPG、その他ガス、瀝	分:再生可能エネルギーのバイオマス
	青混合物、その他	(専焼)、バイオマス(混焼)を選択
		してください。

電源種別の区分	発電方式の区分	留意点
再生可能エネル	地熱、バイオマス(専	
ギー	焼)、バイオマス(混焼)、	
	廃棄物、その他	
その他	蓄電池、その他	蓄電池は発電方式の区分「蓄電池」を
		選択願います。(併設蓄電池は除く)
		次頁の注3を参照してください。

注1:一般(自流式)の電源が発動指令電源として参加する場合の登録方法

一般(自流式)の電源のうち、ダム水位から供給力を算定している場合および調整 係数に調整能力を加算している場合は発動指令電源、調整係数のみで供給力を算定 している場合は変動電源(アグリゲート)となります。一般(自流式)の電源が発 動指令電源として参加する場合、一般(貯水式)として電源等リストに登録してく ださい。

注 2: 揚水(純揚水)について 上部貯水池の河川流入量が発電電力量の増加に寄与している混合揚水のうち、運転 時間を設定する場合には揚水(純揚水)として登録してください。

注3: 併設蓄電池の扱いについて 蓄電池の併設有無により容量を提供する電源等の区分が変わることはありませ ん。例えば、蓄電池が併設されている風力発電所単体では変動電源として扱われ ます。

No.	計量・仕訳区分	選択が必要な場合	留意点
1	バイオマス (混焼)	月単位での買取上限が設定	・実効性テスト時点で全量
	非 FIT 分	(予定を含む)されている	が非 FIT 分のバイオマスは
		バイオマス(混焼)の場合	選択不要
		具体例:2019年4月1日以	・認定に係る全体のバイオ
		降に FIT 制度に基づく買取	マス比率のみ設定されて
		契約を締結し、買取上限が	いるバイオマス設備は選
		設定されているバイオマス	択不要。※1
		混焼設備またはごみ処理施	具体例:2019年3月31日
		設で月単位での買取上限の	までに FIT 制度に基づく買
		設定を行う旨を申請した場	取契約を締結済みのバイ

表 2-7 計量・仕訳区分

No.	計量・仕訳区分	選択が必要な場合	留意点
		合	オマス混焼設備で買取上
			限を設定していない場合
			※FIP 電源の場合も選択
2	バイオマス(混焼)	同上	・①の非 FIT 分を記入し
	FIT 分		た場合は、FIT 分の地点を
			リストへ追加した上で、
			当該区分の記入が必要
			※FIP 電源の場合も選択
3	差分計量 非 FIT 分	同一受電地点において、	
		FIT 電源と併設される非	
		FIT 電源が託送供給等約款	—
		に基づく差分計量により計	
		量できる場合	
4	差分計量 FIT 分	同上	・③を記入した場合で、
			実需給年度前に FIT 制度
			に基づく買取が終了する
			FIT 分が実効性テストに参
			加する場合に記入
			・実需給年度までに FIT
			制度に基づく買取が終了
			した時点で変更が必要
5	按分計量 非 FIT 分	同一受電地点において、	
		FIT 電源と併設される非	
		FIT 電源が託送供給等約款	—
		に基づく按分計量により計	
		量できる場合	
6	按分計量 FIT 分	同上	・⑤を記入した場合で、
			実需給年度前に FIT 制度
			に基づく買取が終了する
			FIT 分が実効性テストに参
			加する場合に記入
			・実需給年度までに FIT
			制度に基づく買取が終了
			した時点で変更が必要
\overline{O}	部分買取	同一受電地点において複数	全ての相対契約を記入。

No.	計量・仕訳区分	選択が必要な場合	留意点
		の発電契約者と相対契約を	不足する場合、当該実績
		結んでいる場合	分は評価されません
8	自己託送地点	・自己託送に必要な量を上	実効性テストへ参加する
		回る容量がある電源の場合	地点が対象のため、対と
		*2	なる電源と需要家の両方
		・自己託送地点において、	の記載は必須ではない
		自己託送需要以外(小売供	
		給による需要)の需要抑制	
		を行う需要家の場合	
9	部分供給(全量)	部分供給が行われている需	部分供給者ごとの評価は
		要家	行いませんので、全量供
			給の場合と同様に1 需要
			家として登録

※1 認定に係るバイオマス比率を設定しているバイオマス混焼設備において、実需給年度 前に FIT 制度に基づく買取が終了する前提で、実効性テスト時には FIT 分を非 FIT 分と見 做して参加する場合については、FIT 分の地点をリストへ追加した上で、計量・仕訳区分 は記入しないでください。

※2 自己託送に必要な量を上回る容量について部分買取を行っている場合は、計量・仕訳 区分は部分買取を選択し、特記事項欄に自己託送地点と記入してください。

【バイオマス(混焼)で調達上限比率を設定した場合の注意事項】 注:実需給期間中は予定バイオマス比率での実績評価を行わないため、実需給前までに 申請した調達上限比率に変更してください。

2.1.2.3 電源等リストの提出

電源等リスト(EXCELファイル)を作成後、容量市場システムにて提出します。

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブから「電源等情報管 理」リンクをクリックして、「電源等情報一覧画面」へ進みます。次に「電源等情報 一覧画面」で、容量を提供する電源等の区分を選択し、「検索」ボタンをクリックし ます。

電源等情報一覧に登録済の電源等情報が表示されるので、電源等リストを提出したい 電源の「電源等識別番号」をクリックして、「電源等情報詳細画面」へ進みます。続 いて、「電源等情報詳細画面」で「電源等リスト登録」ボタンをクリックして、「電源 等情報変更申込画面」へ進みます。

「電源等情報変更申込画面」の「電源等リスト(追加)」の「ファイル選択」ボタン をクリックして、電源等リスト(EXCELファイル)をアップロードします(図 2-5 参 照)。また、「変更理由」欄に「電源等リストの提出」と入力してください(表 2-8 参 照)。

量市場システム	ロジイン日時:2000/17/2183 ユーザ名:7/02担当 ア(:54 フェーズ2) ログアウト
電源等情報変更申込画面		
↑ TOP > 参加登録 > 電源等情	報管理 > 電源等情報─覧画面 > 電源等情報詳細画面 > 電源等情報変更申込画面	
基本情報一覧		
容量を提供する電源等の[Z分 発動指令電源 (アグリゲート)	
変更区分	電源等リスト登録・変更	
	\sim	
\sim		
	アッフロートする意味明シストで強切してたさい。 ファイル 金箔空ロフェレーシー~	クリア
	ファイル ファイルが避邪されていません 電源等リスト (EXCEL ファイル)を	クリア
電源等リスト (追加)	ファイル ^{ファイル} ファイルが選択されていません「ファイル選択」ボタンからアップ	クリア
	ファイル ^{ファイル} ^{ファイルが選択されていません} ロードしてください。	クリア
		/117
	選択 ジアイルが出たるいしい。	
	全用または単用文字で人力してくたさい。	
変更理由	電源等リストの提出 *	
		確認
		PERO

図 2-5「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ

表 2-8 電源等リスト提出時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目

No.	項目	記入内容
1	変更理由	「電源等リストの提出」と記入

2.1.2.4 電源等リストの登録の仮申込

「電源等情報変更申込画面」にて電源等リストのアップロードおよび変更理由の入力 終了後、「確認」ボタンをクリックし、「電源等情報変更申込確認画面」に進みます。 「電源等情報変更申込確認画面」にて、基本情報の入力内容を再度確認します。申請 内容に誤りがない場合は「実行」ボタンをクリックし、「完了画面」に進みます。申 請内容を修正する場合は、「戻る」ボタンをクリックして、「電源等情報変更申込画 面」に戻ります。

「完了画面」が表示されれば、電源等リストの登録の仮申込完了です。提出書類の追 加アップロードが必要な場合は、「完了画面」にある「提出書類追加」ボタンをクリ ックし、アップロードしてください。

注:申込の手続きについて

なお、この段階では仮申込の状態であり、新規登録の申込は完了していませんの で注意してください。

2.1.2.5 電源等リストの登録の申込完了

仮申込の状態から申込を完了させるためには、「ポータルトップ画面」の「審査」タ ブから「電源等情報審査管理」リンクをクリックして、「電源等情報審査画面」へ進 みます。

「電源等情報審査画面」の容量を提供する電源等の区分を選択後、申込を完了したい 電源等情報の条件を入力して、「検索」ボタンをクリックします。検索結果が「審査申 込状況一覧」に表示されます。「申込 ID」リンクをクリックして「電源等申込情報画 面」にて内容を確認後、チェックボックスにチェックを入れ、「申込完了」ボタンをク リックします。申込が完了すると、その旨が登録されたメールアドレスへ電子メール にて送付されます。

注:申込完了メールについて

申込完了メールには、電源等情報の変更申込を受け付けた旨が記載されています。

なお、本機関は受付後、電源等リストに係る審査を行います。審査後には審査合 格または不合格を、別途登録されたメールアドレスへ電子メールにて通知いたし ます。不合格の通知を受けた場合、対象事業者は速やかに通知コメントに従い、 対応してください。

2.1.3 電源等リストの審査結果の確認(合格)

本項では、審査結果の確認の手続きについて説明します(図 2-6 参照)。電源等リストの登録申込後、本機関が内容を確認した結果、不備がなかった場合、2025 年 4 月末日までに合格通知が送付されます。

2.1.3.1 合格通知の受領(電源等リストの登録申込)



図 2-6 電源等リストの審査結果の確認(合格)

2.1.3.1 合格通知の受領(電源等リストの登録申込)

電源等情報が変更された旨が、登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付され ます。

2.1.4 電源等リストの審査結果の確認(不合格)

本項では、審査結果の確認の手続きについて説明します(図 2-7 参照)。電源等リストの登録申込後、本機関が内容を確認した結果、他の対象事業者より提出された電源 等リスト内の電源または需要抑制と重複がある等、不備があった場合、不合格通知が送付されます。

2.1.4.1 不合格通知の受領(電源等リストの登録申込)



図 2-7 電源等リストの審査結果の確認(不合格)

2.1.4.1 不合格通知の受領(電源等リストの登録申込)

不合格通知が、登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付されます。

なお、不合格理由は「電源等情報審査詳細画面」で確認できます。 容量市場システム「ポータルトップ画面」の「審査」タブから「電源等情報審査画 面」リンクをクリックして、「電源等情報審査画面」へ進みます。

「電源等審査情報画面」で容量を提供する電源等の区分を選択後、検索したい電源等 情報の条件を入力して、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が「審査申込状 況一覧」に表示されます。「詳細」リンクをクリックして「電源等審査詳細画面」に 進み、審査内容一覧の審査コメントを確認してください。

- 注1: 電源等リストに不備がある場合の対応について 電源等リストに不備がある場合、2025 年4月末日の10営業日前までに不合格で ある旨が通知されます。再申込を希望する場合、不備を解消してすみやかに再申 込してください。審査終了日である2025 年4月末日までに、不備が解消されない 電源等はアグリゲートリソースとして認められないため、対象事業者は当該電源 等を除外して電源等リストを構成してください。
- 注2:電源または需要抑制と合意済みであるエビデンスの提出について

電源または需要抑制が、他の対象事業者が提出する電源等リストに登録されている 電源または需要抑制と重複していることにより不合格となった場合には、電源等と 合意済みであるエビデンス(契約期間が記載されたもので、様式自由)を再申込時 に提出してください。なお、書類の提出にあたっては、本機関に電磁的記録媒体(CD-R等)で郵送してください。

〒100-6607

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー7階

電力広域的運営推進機関 容量市場参加登録係_2026_電源等リスト 宛

対象実需給年度

注3: 電源等リストの登録が完了しない場合の対応について

電源等リストの登録が完了しない場合、容量確保契約書を締結済の発動指令電源 は市場退出(全量退出)となりますので、注意してください。市場退出の場合、 本機関より市場退出内容が通知された後、「容量市場業務マニュアル(実需給前に 実施すべき業務(全般)編)(対象実需給年度:2027年度)」の第2章2.6と第3 章を参照し、手続きを行ってください。

また、電源等リストの登録が完了しない場合、容量確保契約書を締結していない 発動指令電源は、実効性テストの実施、調達オークションの参加や、差替契約の 締結が不可能となります。

2.2 電源等リストの変更手続き

本節では、電源等リストの変更手続きについて以下の流れで説明します(参照)。

- 2.2.1 電源等リストの変更申込
- 2.2.2 電源等リストの審査結果の確認(合格)
- 2.2.3 電源等リストの審査結果の確認(不合格)



図 2-8 電源等リストの変更手続きの詳細構成

- 注1:実効性テスト前の電源等リストの更新について 以下に当てはまる場合等は、実効性テスト実施時期の前(夏季:5月末日、冬季:10 月末日)までに電源等リストの更新を完了させてください。更新しない場合は、そ の電源等当該地点は実効性テストでの発動実績は評価されません。
 - ・電源等リスト登録時(2025年2月末日まで)に新設電源として登録された電源に ついて、未確定であった内容(地点特定番号、BGコード等)が確定した場合
 - ・既設電源において電源等リスト登録時(2025年2月末日まで)から地点特定番号、 BGコードが変更となった場合
- 注2:計量値が取得できない地点等の削除について 発動実績の報告までに計量値が取得できない地点や、容量市場へ不参加となる地点 が判明した場合、発動実績を報告する前にすみやかに電源等リストから該当地点を 削除してください。
- 注3:電源等リストの変更申込が可能な電源について 実効性テスト後に発動実績を登録し、既に期待容量が評価された対象事業者が対象 となります。
- 注4:電源等リストの変更受付期間について
 実効性テスト後の電源等リストの変更の申込可能期間は、2026年10月から2028年2月10日までとなります。2026年9月末日までの期間は、電源等リストを変更することはできません。

2.2.1 電源等リストの変更申込

本項では、電源等リストの変更申込について説明します(図 2-9 参照)。

- 2.2.1.1 事前準備
- 2.2.1.2 電源等リストの作成
- 2.2.1.3 電源等リストの提出
- 2.2.1.4 電源等リストの変更の仮申込
- 2.2.1.5 電源等リストの変更の申込完了

2.2.1 電源等リストの変更申込			
2.2.1.1 2.2.1.2 事前準備 電源等	2.2.1.3	2.2.1.4	2.2.1.5
	電源等リストの	電源等リストの変	電源等リストの変更の
	提出	仮申込	申込完了

図 2-9 電源等リストの変更申込

注1:電源等リストの名称について

電源等リストの変更申込の場合、電源等リストのファイル名は「エリア_電源等リ スト_事業者コード_対象実需給年度_電源等識別番号_A 枝番(ファイルを分割する 場合のみ)_R 改訂回数. xlsx」としてください。事業者コードは4桁(容量市場シ ステムに入力した数字)を記載してください。

なお、改定回数は修正があるファイルのみ変更してください。

例)変更申込(初回)の場合



東京_電源等リスト	$_{-0123}$	_2027_01 L	23456789	∂_A1_R2.xlsx / 凵 凵
エリア	事業者	対象実	電源等	A 枝番 R 改定回数
	コード	而稻年度	識別番号	※ファイルを分割しない場合、 A枝番は不要です。

注2:電源等リストの変更申込の締切について

実需給期間中の電源等リストの変更申込は毎月10日に締め切り、当月中に審査結 果を通知します。前月11日~当月10日までの期間に申込まれた、かつ、書類等 に不備がない場合、最短で翌月1日から変更済みの電源等リストが有効となりま す。

従って、例えば5月1日からの電源等リストの変更を希望する対象事業者は、遅 くとも4月10日までに変更申込を行うようにしてください。

注3:電源等リストの変更時の提出書類について

電源等リストに電源または需要抑制を追加することを希望する場合、追加する電 源または需要抑制に係る書類のみを提出してください。一方で、電源等リストか ら電源または需要抑制を削除することを希望する場合、書類の提出は必要ありま せん。
電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実効性テスト 編 第2章 電源等リスト登録 2.2 電源等リストの登録手続き

2.2.1.1 事前準備

『2.1.2.1 事前準備』を参照してください。

2.2.1.2 電源等リストの作成

『2.1.2.2 電源等リストの作成』を参照してください。

2.2.1.3 電源等リストの提出

『2.1.2.3 電源等リストの提出』を参照してください。

2.2.1.4 電源等リストの変更の仮申込

『2.1.2.4 電源等リストの登録の仮申込』を参照してください。

2.2.1.5 電源等リストの変更の申込完了

『2.1.2.5 電源等リストの登録の申込完了』を参照してください。

2.2.2 電源等リストの審査結果の確認(合格)

本項では、審査結果の確認の手続きについて説明します(図 2-10 参照)。電源等リストの変更申込後、本機関が内容を確認した結果、不備がなかった場合、合格通知が送付されます。

2.2.2.1 合格通知の受領(電源等リストの変更申込)

2.2.2 電源等リストの審査結果の確認(合格)



図 2-10 電源等リストの審査結果の確認(合格)

2.2.2.1 合格通知の受領(電源等リストの変更申込)

『2.1.3.1 合格通知の受領(電源等リストの登録申込)』を参照してください。

2.2.3 電源等リストの審査結果の確認(不合格)

本項では、審査結果の確認の手続きについて説明します(図 2-11 参照)。電源等リストの変更申込後、本機関が内容を確認した結果、他の対象事業者より提出された電源 等リスト内の電源または需要抑制と重複がある等、不備があった場合、不合格通知が 送付されます。 2.2.3.1 不合格通知の受領(電源等リストの変更申込)



図 2-11 電源等リストの審査結果の確認(不合格)

2.2.3.1 不合格通知の受領(電源等リストの変更申込)

『2.1.4.1不合格通知の受領(電源等リストの登録申込)』を参照してください。

第3章 実効性テスト

本章では、実効性テストに関する以下の内容について説明します(図 3-1 参照)。

- 3.1 実効性テスト前手続き
- 3.2 実効性テストの実施
- 3.3 実効性テスト後手続き



図 3-1 第3章の構成

注1: 実効性テストの希望時期について 実効性テストの実施時期については、希望時期(夏季または冬季のいずれか)を 選択できます。原則、対象事業者の希望時期に実効性テストを行うこととしま す。

- 注2:実効性テストの実施時期と再テストについて 夏季に実効性テストを実施した場合、再テストは夏季1回・冬季1回の計2回、 冬季に実効性テストを実施した場合、再テストは冬季1回となります。
- 注3: 実効性テストで発生した電力量(kWh)の扱いについて

実効性テストで発生した電力量は、相対契約に基づく小売電気事業者等への供給ま たは卸電力取引所への入札を通じて適切に提供していただきます。なお、対象事業 者が卸電力市場へ入札する場合は、日本卸電力取引所の会員資格手続きや属地一般 送配電事業者との発電量調整供給契約または需要抑制量調整供給契約が必要とな ります。

注4: 実効性テストにおけるバランシンググループの組成について 実効性テストでは、電源等リストに含まれる電源リソース、需要抑制リソースにつ いて、発電バランシンググループ、需要抑制バランシンググループの組成に制約等 はありません。

3.1 実効性テスト前手続き

本節では、実効性テスト前手続きについて以下の流れで説明します(図 3-2 参照)。

- 3.1.1 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の確認
- 3.1.2 実効性テスト実施時期の調整依頼
- 3.1.3 実効性テスト実施時期の通知の確認
- 3.1.4 実効性テスト実施時期の登録



図 3-2 実効性テスト前手続きの詳細構成

3.1.1 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の確認

本項では、実効性テスト実施時期の調整開始依頼の確認の手続きについて説明します (図 3-3 参照)。

3.1.1.1 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の受領



図 3-3 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の確認

3.1.1.1 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の受領

2025年4月10日までに、発動指令電源の電源等リストの登録申込をされた事業者 へ、実効性テスト実施時期の調整開始依頼が登録されたメールアドレスへ電子メール にて送付されます。

3.1.2 実効性テスト実施時期の調整依頼

本項では、実効性テスト実施時期の調整依頼について説明します(図 3-4 参照)。

3.1.2.1 実効性テスト実施時期の調整依頼



図 3-4 実効性テスト実施時期の調整依頼

3.1.2.1 実効性テスト実施時期の調整依頼

対象事業者は、2025年4月末日までに、属地一般送配電事業者に対し、実効性テスト 実施の希望時期(夏季または冬季のいずれかを選択できますが、具体的な月日・時間 帯を指定することはできません)をメールで連絡します。

なお、属地一般送配電事業者の連絡先については、2025年4月上旬頃に、本機関ウェ ブサイトにて別途お知らせします。

3.1.3 実効性テスト実施時期の通知の確認

本項では、実効性テスト実施時期の通知の確認について説明します(図 3-5 参照)。実 効性テストの実施時期の調整後、属地一般送配電事業者から、確定した実施時期が通 知されます。

3.1.3.1 実効性テスト実施時期の通知の受領

3.1.3	実効性テスト実施時期の通知の)確認
	3. 1. 3. 1	
	実効性テスト実施時期 の通知の受領	

図 3-5 実効性テスト実施時期の通知の確認

3.1.3.1 実効性テスト実施時期の通知の受領

2025年6月10日までに、対象事業者へ、属地一般送配電事業者から確定した実効性 テストの実施時期(夏季もしくは冬季)の調整結果がメールで通知されます。

3.1.4 実効性テスト実施時期の登録

本項では、実効性テスト実施時期の登録について説明します(図 3-6 参照)。

3.1.4.1 実効性テスト実施時期の登録



図 3-6 実効性テスト実施時期の登録

3.1.4.1 実効性テスト実施時期の登録

一般送配電事業者から実効性テストの実施時期の調整結果が通知された日からすみや かに、容量市場システムに実効性テストの実施時期を登録します。

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブから「電源等情報管 理」リンクをクリックして、「電源等情報一覧画面」へ進みます。次に「電源等情報 一覧画面」で、容量を提供する電源等の区分を選択し、「検索」ボタンをクリックし ます。

電源等情報一覧に登録済の電源等情報が表示されるので、追加登録を行いたい電源の 「電源等識別番号」をクリックして、「電源等情報詳細画面」へ進みます。続いて、 「電源等情報詳細画面」で「実効性テスト登録」ボタンをクリックして、「電源等情 報変更申込画面」へ進みます。

「電源等情報変更申込画面」にて、実効性テストに係る項目を入力します。実効性テ ストの実施時期の登録にあたっては「変更理由」欄に「実効性テストの実施時期の登 録」と入力してください。入力終了後、「確認」ボタンをクリックし、入力内容に不 備がなければ「実行」ボタンをクリックします(図 3-7 参照)。

注:申込の手続きについて

なお、この段階では仮申込の状態であり、実効性テストの実施時期の登録の申込は 完了していませんので注意してください。

容量	量市場システム			ログイン日時:2020/11/12 15:05 ユーザ名:7YO2担当 ア(フェーズ2)	ログアウト
	[家等情報変更申込画面 [」 TOP > 参加登録 > 電源等情報管理	> 電源等情報一覧画面 > 電源等情報詳細画の	面 > 電源等情報変更申込重面		
	基本情報一覧				
	容量を提供する電源等の区分	発動指令電源(アグリゲート)			
	変更区分	実効性テスト実施時期登録・変更			
	\sim	\sim		$\sim\sim$	
)	実効性テスト以外の 発動実績の利用希望 * 実効性テスト実施時期	実効在ナスト以外の発動実績の利用希望の有害 ○ 有 ● 無 実効性テスト実施の時期を指定してください。 1:夏季	着名物ルビレ いたでいる		
	再テスト希望	夏季	夏季の再テスト希望の有無を指定してください。 ○有 ○無		
		冬季	≪≉の両テスト希望の有無を指定してくたさい。 ○有 ○無		
	登録済電源等リスト一覧 削除 No. 電源等リスト名				
	□ 1 <u>電源等リスト1-x1</u>	<u>sx</u>			
D	<u>全</u> 変更理由 *	時または半角☆キで入力してください。 実効性テストの実施時期の登	録		
					確認

図 3-7「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ

No.	項目	記入内容
1	実効性テスト以外の発動実績の利用希望	「無」または「有」にチェック
2	実効性テスト実施時期	 ①を「無」とした場合 「夏季」もしくは「冬季」を選択 ①を「有」とした場合 空欄とする
3	変更理由	 ①を「無」とした場合 「実効性テストの実施時期の登録」と記入

表 3-1 実効性テスト実施時期の登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目

No.	項目	記入内容
		・①を「有」とした場合
		「実効性テスト以外の発動実績を
		利用するため」と記入

※実効性テスト実施時期の登録の時点では、「再テスト希望」の選択は不要です。

仮申込の状態から申込を完了させるためには、「ポータルトップ画面」の「審査」タ ブから「電源等情報審査管理」リンクをクリックして、「電源等情報審査画面」へ進 みます。

「電源等情報審査画面」の容量を提供する電源等の区分を選択後、実効性テストの実施時期を登録したい電源等情報の条件を入力して、「検索」ボタンをクリックします。 検索結果が「審査申込状況一覧」に表示されます。「申込 ID」リンクをクリックして 「電源等申込情報画面」にて内容を確認後、チェックボックスにチェックを入れ、「申 込完了」ボタンをクリックします。申込が完了すると、その旨が登録されたメールア ドレスへ電子メールにて送付されます。

注:申込完了メールについて

申込完了メールには、電源等情報の変更申込を受け付けた旨が記載されています。 なお、実効性テストの実施時期の登録申込では審査がありませんので、申込完了と 同時に電源等情報に反映されます。

- 注: 実効性テスト以外の発動実績の利用希望の場合の登録期限 2025年4月末日までに登録を完了してください。それまでに登録できない場合、本 機関へその旨を申し出てください。
- 注:実効性テストの実施時期を登録できない場合の対応について 実効性テストの実施時期を2025年6月20日までに登録できない場合、本機関へそ の旨を申し出てください。

3.2 実効性テストの実施

本節では実効性テストの実施の手続きについて説明します(図 3-8 参照)。

- 3.2.1 実効性テストの実施指令への対応
- 3.2.2 発動実績の算定
- 3.2.3 再テスト実施有無の検討

	凡例 🛶 実効性テストの実施に必要な業務の流れ
節	3.2 実効性テストの実施
対象事業者	3.2.1 3.2.2 実施性テストの 実施性合への対応 そ動実績の算定 その検討 第一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
一般送配電 事業者	実施性テストの 実施指令
広域機関	再テスト希望の 登録の確認

図 3-8 実効性テストの実施の詳細構成

3.2.1 実効性テストの実施指令への対応

本項では、実効性テストの実施指令への対応について説明します(図 3-9 参照)。

- 3.2.1.1 実効性テストの実施指令の受令
- 3.2.1.2 実効性テストの実施

の実施指令への対応
3. 2. 1. 2
施指 電源等へ実効性テスト の実施指令

図 3-9 実効性テストの実施指令への対応

3.2.1.1 実効性テストの実施指令の受令

対象事業者は、属地一般送配電事業者から夏季(7月1日~9月30日)もしくは冬季(12月1日~2月末日)の特定の6コマに関して、3時間前までに実効性テストの実施指令をオンライン機能(簡易指令システムを含む)で受令します。

また、実効性テストの実施指令の設定時間は、9時から20時まで(土曜日、日曜日、 および祝日を除く)となります。なお、実効性テストは2日連続で実施する場合があ ります。

他の発動実績を実効性テスト結果の代替として提出予定で、実効性テストを受けない と判断した場合、その旨をすみやかに属地一般送配電事業者に連絡して下さい。

3.2.1.2 実効性テストの実施

実効性テストの実施指令の受令後、対象事業者は、電源等リストの各リソースより供 給力を提供していただきます。

※提供する供給力については、各リソースの発電販売計画または需要抑制計画へ適切 に反映してください。なお、実効性テストにおける供給力については、基本的に属地 一般送配電事業者とインバランス精算が行われます。ただし、①余力活用契約を締結 している1地点複数応札のリソース、②実効性テスト時に需給調整市場と同時約定を していた1地点複数応札のリソースにおける OP 等の増出力分は、属地一般送配電事 業者との調整力精算となります。

3.2.2 発動実績の算定

本項では、実効性テスト実施後に行う発動実績の算定について説明します(図 3-10 参 照)。

- 3.2.2.1 事前準備
- 3.2.2.2 ベースラインの算定

3.2.2.3 発動実績等の算定

3.2.2 発動実績の算	定		
3. 2. 2. 1	3. 2. 2. 2	3. 2. 2. 3	
事前準備	ベースラインの	算定 発動実績の算定	

図 3-10 発動実績の算定

3.2.2.1 事前準備

実効性テストを実施した対象事業者は、発電量調整供給契約・接続供給契約(託送契約等)を締結している発電契約者・契約者(託送契約者)から、発電量調整受電電力 量および接続供給電力量を取得します。

対象事業者は、以下の情報を取得します。

- ・ 電源等リストに含まれる各地点の発電量調整受電電力量および接続供給電力量
 (※ 30 分値×6 コマ)
- ベースライン算定に必要となる接続供給電力量(※ 30 分値×指令日前 30 日分)

注:計量値が取得できない場合の対応について

計量値が取得できない地点がある場合、発動実績を報告する前にすみやかに電源等リストから該当地点を削除してください。なお、電源等リストから当該地点を削除せずに虚偽の発動実績を報告していることが疑われた場合、本機関は、必要に応じて、提出された情報について報告者に詳細を確認する場合があります。

3.2.2.2 ベースラインの算定

実効性テストを実施した対象事業者は、電源または需要抑制のベースライン(需要端)を算定します。

<電源のベースラインの算定方法>

電源のベースラインは0(1地点複数応札の場合は、当該安定電源のアセスメント対 象容量)とします。

<需要抑制のベースライン(需要端)の算定方法>

DR⁴実施日当日を含まない直近5日間のうち、DR実施時間帯の平均需要量の多い4日間(high 4 of 5)の接続供給電力量を利用し、4日間の接続供給電力量のコマ毎の平均値(=仮ベースライン)を算定します。

次に、DR 実施時間の5時間前から2時間前までの6コマについて、「(DR 実施日当日のコマ毎の接続供給電力量)-(仮ベースライン)」の平均値(=当日調整値)を算定します。

最後に、DR 実施時間帯の各コマの接続供給電力量に、当日調整値を加算し、ベースラインを算定します。なお、ベースラインがマイナスになるコマのベースラインは零とします。

⁴ ディマンドレスポンスの略。実効性テストの実施指令のみならず、他の発動実績の算定根拠となる一般送配電事業者から指令に対す る需要抑制も含まれます。

需要抑制のベースライン(需要端)の算定方法については、発動実績算定諸元一覧の エクセルファイルに含まれる「(参考)ベースライン算定用シート」のシートを参考にしてくだ さい。なお、報告にあたり当該シートは入力して頂く必要はありません。

注1:DR 実施日当日を含まない直近5日間の対象について

土曜、日曜および祝日(「国民の祝日に関する法律」に規定する休日)、属地一般 送 配電事業者の指示に基づく過去の DR 実施日(対象実需給年度 2025 年度におけ る発動指令電源の発動日含む)を除外します。

また、DR 実施時間帯の平均需要量が、当該日を含む直近5日間のDR 実施時間帯の 平均需要量の25%未満となる場合も、当該日を除外します(図 3-11 参照)。

注2:4日間の選定方法について

DR 実施時間帯の平均需要量の最小日が複数ある場合、DR 実施日から最も遠い1日 を除外した4日間の接続供給電力量を利用します。ただし、4日分に満たない場 合、DR 実施日から過去30日以内のDR 実施日のうち、DR 実施時間帯の平均需要量 が最も大きい日を加えた4日間の接続供給電力量の平均値を算定された値としま す。

それでもなお4日未満の場合は、平均需要量が総平均値の25%未満の日から平均 需要量が多い日から順に充当する。平均値が同じ日が複数ある場合は、発動日か ら最も近い日を対象とする。

注3:端数処理について

需要抑制のベースライン(需要端)の算定において、ベースライン(需要端)およ び計算途中での端数処理は行わない。

注4:電力需給ひっ迫等を踏まえたベースライン算定の取扱いについて

昨今の厳しい電力需給状況を踏まえ、省エネ・節電の取り組みを積極的に進めて いくため容量提供事業者においては、経済DRが実施されることが想定されることか ら、

容量市場の実効性テストにおいては、ベースラインの算定において、以下のとおり 取り扱うこととする。

1. 経済 DR 実施日の取扱い

電力需給ひっ迫警報もしくは注意報が発令期間中に、当該エリアにおいて 経済 DR が実施された場合、容量提供事業者からの申し出に基づき、実効性テ ストにおけるベースライン算定において、経済 DR 実施日を除外する等の対応 を行います。また、広域予備率低下に伴う供給力提供通知がされた日におい て経済 DR を実施した場合についても、同様に対応します。

2. お申し出の方法・期日

以下のとおり、容量提供事業者よりお申し出ください。

- ・連絡先:<u>youryou_uketsuke@occto.or.jp</u>
- ・メールタイトル:【XXXX(事業者コード)】2025 年度実効性テスト 経済 DR 実施
 日の報告
- 期日:発動実績の報告まで
- ・添付資料:容量提供事業者とDRを実施した需要家との契約書等、
 実際にDR指令を行ったことを示す資料(指令時のメール等)、
 経済DR実施日の報告フォーマット※

※指定様式は下記よりダウンロードしてください。

なおファイル名は 「経済 DR_事業者コード_提出年月日」としてください。

https://www.occto.or.jp/market-

board/market/jitsujukyukanren/2027_jitsujukyu_kanren.html



図 3-11 平日のベースライン設定における除外日のイメージ図

3.2.2.3 発動実績等の算定

実効性テストを実施した対象事業者は、電源または需要抑制の発動実績[kWh]を算定 したうえで、実効性テスト後の期待容量[kW]を算定します。

<電源の発動実績の算定方法>

コマ毎、地点毎に、発電量調整受電電力量から電源のベースラインを減じて、電源の 発動実績[kWh]を算定します。

<需要抑制の発動実績の算定方法>

コマ毎、地点毎に、3.2.2.2 ベースラインの算定にもとづき需要抑制のベースライン (需要端)を算定し、当該ベースラインおよび接続供給電力量を当該エリアの電圧区 分毎の損失率を考慮した送電端換算値に変換します。変換後のベースライン(送電 端)から接続対象電力量(送電端)を減じて、需要抑制の発動実績[kWh]を算定しま す。

<電源等リスト全体の発動実績の算定方法>

各コマ、各地点の電源の発動実績[kWh]と、各コマ、各地点の需要抑制の発動実績 [kWh]を合算し、各コマの電源等リスト全体の発動実績を算定します。

<リクワイアメント未達成量の算定方法>

各コマの電源等リスト全体の発動実績をアセスメント対象容量(※1)(容量確保契約 書を締結していない場合は期待容量)の30分kWh換算値で除してコマごとの達成率 を算定し、1からコマごとの達成率を減じてコマごとの未達成率(※2)を算定しま す。

アセスメント対象容量(容量確保契約書を締結していない場合は期待容量)の 30 分 kWh 換算値にコマごとの未達成率を乗じてコマごとのリクワイアメント未達成量を算 定します。

<u>※1:契約電源が提供するべき供給力・メインオークションにおける応札容量(発動</u> 指令電源の調整係数反映前の値)

<u>※2:負値となる場合は零とします。</u>

<実効性テスト未達成量の算定方法>

コマごとのリクワイアメント未達成量[kWh]の6コマの合計値を3で除して実効性テ スト未達成量[kW]を算定します。なお、実効性テストを2日連続で行った場合、実効 性テスト未達成量[kW]の1日目、2日目、および2日間の平均値のいずれかを、対象 事業者が選択することが出来ます。

<期待容量(実効性テスト後)の算定方法>・実効性テスト未達成量[kW]=0の場合

各コマの電源等リスト全体の発動実績の6コマの合計値を3で除して、期待容量(実 効性テスト後)を算定します。

・実効性テスト未達成量[kW]>0の場合

アセスメント対象容量(容量確保契約書を締結していない場合は実効性テスト前に登録した期待容量)から実効性テスト未達成量[kW]を減じて期待容量(実効性テスト後)を算定します。

注1:kW換算について

各コマ、各地点の電源および需要抑制の発動実績[kWh]の合計値は、6コマ×30分 値であるため、kW値に変換するにあたり、6コマの合計値を3で除す必要がありま す。

注2: 端数処理について

- ・ベースライン(送電端)[kWh]…高圧・特高は小数点以下第1位四捨五入、低圧 は小数点以下第3位四捨五入
- ・接続対象電力量(送電端)[kWh]…高圧・特高は小数点以下第1位四捨五入、低 圧は小数点以下第3位四捨五入
- ・コマごとの達成率…小数点第11位を四捨五入
- ・コマごとの未達成率…小数点第11位を四捨五入
- ・コマごとのリクワイアメント未達成量[kWh]…有効数字 10 桁とする
- ・リクワイアメント未達成量[kWh]…有効数字10桁とする
- ・実効性テスト未達成量[kW]…小数点以下切り上げ
- ・期待容量(実効性テスト後)[kW]…小数点以下切り捨て

※上記以外は計算途中での端数処理を行わない

3.2.3 再テスト実施有無の検討

本項では、発動実績の算定後に行う再テスト実施有無の検討について説明します(図 3-12 参照)。

- 3.2.3.1 再テスト実施有無の検討
- 3.2.3.2 再テスト希望の登録

3.2.3 再テスト実法	施有無の検討
3. 2. 3. 1	3. 2. 3. 2
再テスト実施有料 討	無の検 再テスト希望の登録

図 3-12 再テスト実施有無の検討

3.2.3.1 再テスト実施有無の検討

実効性テストを実施した対象事業者は、実効性テストの結果を踏まえたうえで実効性 テストの再テストの実施有無を検討します。

同時期に再テストを希望する場合には<u>実効性テストの1週間後</u>、別時期に再テストを 希望する場合には<u>実効性テスト(夏季再テスト実施時は当該再テスト)の2か月後</u>を 期限とし、属地一般送配電事業者への再テスト希望時期の連絡(属地一般送配電事業 者への調整にあたっては、『3.1.2 実効性テスト実施時期の調整依頼』から『3.1.3 実 効性テスト実施時期の通知の確認』までの手続きをご参照ください。)を実施しま す。その後、すみやかに容量市場システムへの再テスト希望の登録を実施します。属 地一般送配電事業者との再テスト希望時期の調整後に行う実効性テストの実施対応手 続きは『3.2 実効性テストの実施』をご参照ください。 再テスト申込後に、再テストを受けないと判断した場合、その旨をすみやかに属地一 般送配電事業者に連絡して下さい。

注:再テストの回数について

再テストの実施は、夏季および冬季において各1回を上限に受け付けます。属地一 般送配電事業者に対して、回数上限を超えて再テストの実施は依頼できません。

3.2.3.2 再テスト希望の登録

実効性テストの再テスト希望を登録する場合には、容量市場システムの「電源等情報 変更申込画面」から行います。

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブから「電源等情報管理」リンクをクリックして、「電源等情報一覧画面」へ進みます。次に「電源等情報 一覧画面」で、容量を提供する電源等の区分を選択し、「検索」ボタンをクリックします。

電源等情報一覧に登録済の電源等情報が表示されるので、追加登録を行いたい電源の 「電源等識別番号」をクリックして、「電源等情報詳細画面」へ進みます。続いて、 「電源等情報詳細画面」で「実効性テスト登録」ボタンをクリックして、「電源等情 報変更申込画面」へ進みます。

「電源等情報変更申込画面」にて実効性テストに係る項目を入力します。電源等情報 の追加登録にあたっては「変更理由」欄に「再テスト希望の登録」と入力してくださ い。入力終了後、「確認」ボタンをクリックし、入力内容に不備がなければ「実行」 ボタンをクリックします(図 3-13 参照)。

注:申込の手続きについて

なお、この段階では仮申込の状態であり、再テスト希望の登録の申込は完了してい ませんので注意してください。

容量市場システム			ログイン日時:2020/11/12 15:05	ログアウト
雷源等情報変更申込面面			ユーリ治://102担当 ア(フェース2)	
	/ 李湛美祥招一般学业 / 李湛美祥招祥和学生	□ \ 索须等楼船应用中汕面面		
基本情報一覧				
容重を提供する電源等の区分	発動指令電源(アクリケート)			
亦重区公	宇が性テフト宇宙時期登録、亦画			
axen	天然日7人下天地时初豆酥 夏天			
\sim		$\sim \sim \sim$	\sim	\sim
		\sim		
字体サーフレットの	まわせテフトリめへ発動実体へ利用参切へ声を	老松安! アノゼヨー		
美効性テスト以外の * 発動実績の利用希望		で推進してくたるい。		
	実動性テフト実施の時期を指定してください。			
実効性テスト実施時期	1:夏季 ✓			
	夏季	夏季の再テスト希望の有無を指定してください。 ○ ★ ○ 毎		
		○有 ● 薫		
	久委	冬季の再テスト希望の有無を指定してください。		
	*+	●有 ○無		
登録済電源等リスト一覧				
削除 No. 電源等リスト名				
□ 1 電源等リスト1.x	sx			
全)	角または半角文字で入力してください。			
	再テスト希望の登録			
*				
				確認
Copyright OCCTO, All Rights Reserve	d.			

図 3-13「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ

No.	項目	記入内容
		「夏季」または「冬季」にて、「有」をチェック
1	再テスト希望	※2回目の再テスト実施を希望する場合には、「夏季」「冬
		季」とも「有」にチェックが入っている状態になる
	亦更理由	「再テスト希望の登録」と記入
4	変更理由	再テスト実施時期(夏季もしくは冬季)を記入

表 3-2 再テスト希望登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目

※再テスト希望の登録の時点では、「実効性テスト以外の発動実績の利用希望」と 「実効性テスト実施時期」の選択は不要です。

仮申込の状態から申込を完了させるためには、「ポータルトップ画面」の「審査」タ ブから「電源等情報審査管理」リンクをクリックして、「電源等情報審査画面」へ進 みます。

「電源等情報審査画面」の容量を提供する電源等の区分を選択後、電源等情報の追加 登録したい電源等情報の条件を入力して、「検索」ボタンをクリックします。検索結果 が「審査申込状況一覧」に表示されます。「申込 ID」リンクをクリックして「電源等申 込情報画面」にて内容を確認後、チェックボックスにチェックを入れ、「申込完了」ボ タンをクリックします。申込が完了すると、その旨が登録されたメールアドレスへ電 子メールにて送付されます。

注:申込完了メールについて

申込完了メールには、電源等情報の変更申込を受け付けた旨が記載されています。 なお、再テスト希望の登録申込では審査がありませんので、申込完了と同時に電源 等情報に反映されます。

3.2.3.3 再テスト希望の取下げ

再テスト希望登録後に、再テスト希望を取下げる場合には、容量市場システムの「電 源等情報変更申込画面」から行います。

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブから「電源等情報管 理」リンクをクリックして、「電源等情報一覧画面」へ進みます。次に「電源等情報 一覧画面」で、容量を提供する電源等の区分を選択し、「検索」ボタンをクリックし ます。

電源等情報一覧に登録済の電源等情報が表示されるので、取下げを行いたい電源の 「電源等識別番号」をクリックして、「電源等情報詳細画面」へ進みます。続いて、 「電源等情報詳細画面」で「実効性テスト登録」ボタンをクリックして、「電源等情 報変更申込画面」へ進みます。

「電源等情報変更申込画面」にて、対象の「再テスト希望」欄の「無」をチェック し、「変更理由」欄に「再テスト希望の取下げ」と入力してください。入力終了後、 「確認」ボタンをクリックし、入力内容に不備がなければ「実行」ボタンをクリック します(図 3-13 参照)。

注:申込の手続きについて なお、この段階では仮申込の状態であり、再テスト希望の登録の取下げは完了して いませんので注意してください。

容量市場システム		ログイン日時:2020/11/12 15:05 ユーザ名:7Y02担当 ア(フェーズ2)	ログアウト
電源等情報変更申込画面			
↑ TOP > 参加登録 > 電源等情報管理:	> 電源等情報一覧画面 > 電源等情報詳細画面 > 電源等情報変更申込画面		
基本情報一覧			
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源(アグリゲート)		
変更区分	実効性テスト実施時期登録・変更		
\sim	$\sim\sim\sim\sim\sim$	\sim	\sim

実効性テスト以外の 発動実績の利用希望	* ○有 ● 無	有無を指定してくたさい。
実効性テスト実施時期	実効性テスト実施の時期を指定してくださ 1:夏季 ✓	15
西ニット参切	夏季	夏季の再テスト希望の有無を指定してください。 〇 有 ● 無
丹ナスト 布室	冬季	冬季の再テスト希望の有無を指定してください。 ● 有 ○ 無
登録済電源等リスト一覧		
i 除 No. 電源等リスト	名	
 制除 No. 電源等リスト 1 電源等リスト1 	名 .xlsx	
1 電源等リスト 電源等リスト1	名 -xlsx	
11除 №. 電源等リスト □ 1 電源等リスト1	名 .xlsx	
朝除 №. 電源等リスト 1 電源等リスト1	名 . <u>.xisx</u>	
No. 電源等リスト のようには、 電源等リスト1 電源等リスト1	名 <u>xlsx</u> 全角または半角文字で入力してください。	
利除 No. 電源等リスト □ 1 電源等リスト1	名 xlsx 全角または半角文字で入力してください。	
No. 電源等リスト ・ 1 電源等リスト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 名 .xlsx 	
No. 電源等リスト 1 電源等リスト 変更理由 *	 名 .xlsx 全角または半角文字で入力してください。 再テスト希望の取下げ 	
No. 電源等リスト 1 電源等リスト 変更理由 _米	 名 .xlsx 全角または半角文字で入力してください。 再テスト希望の取下げ 	
No. 電源等リスト 1 電源等リスト1 変更理由 *	 名 .xlsx 全角または半角文字で入力してください。 再テスト希望の取下げ 	

図 3-14「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ

表 3-3 再テスト希望登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目

No.	項目	記入内容
1	再テスト希望	取下げ対象の時期(「夏季」・「冬季」)にて、「無」をチェ ック
2	変更理由	「再テスト希望の取下げ」と記入

3.3 実効性テスト後手続き

本節では実効性テスト実施後に行う手続きについて説明します(図 3-15 参照)。

- 3.3.1 発動実績の報告依頼の確認
- 3.3.2 発動実績の報告
- 3.3.3 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果一致)
- 3.3.4 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果不一致)



図 3-15 実効性テスト後手続きの詳細構成

3.3.1 発動実績の報告依頼の確認

本項では、発動実績の報告依頼の確認の手続きについて説明します(図 3-16 参照)。

3.3.1.1 発動実績の報告依頼の受領



図 3-16 発動実績の報告依頼の確認

3.3.1.1 発動実績の報告依頼の受領

2026年2月上旬頃、全ての電源等リスト登録者(市場退出したものを除く)へ、発動 実績の報告依頼が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付されます。

発動実績(実効性テストによる発動実績もしくは他の発動実績)を報告していない対象事業者は、2026年3月10日までに、発動実績を報告する必要があります。

3.3.2 発動実績の報告

本項では、発動実績の報告について説明します(図 3-17 参照)。2026 年 3 月 10 日まで に、実効性テストによる発動実績もしくは他の発動実績を報告します。

- 3.3.2.1 事前準備
- 3.3.2.2 発動実績の登録内容の入力
- 3.3.2.3 発動実績の登録の仮申込
- 3.3.2.4 発動実績の登録の申込完了

3.3.2 発動実績の報告			
3.3.2.1 事前準備	3.3.2.2 発動実績の登録内容 入力	3.3.2.3 その 発動実績の登録の仮申 込	3.3.2.4 発動実績の登録の申込 完了

図 3-17 発動実績の報告

注1:発動実績の自主的な報告について 本機関からの発動実績の報告依頼の受領前であっても、発動実績を報告すること は可能です。

注2:発動実績の未報告時の対応について

2026年3月10日までに発動実績を報告しない場合、容量確保契約書を締結済の 発動指令電源は市場退出(全量退出)となりますので、注意してください。市場 退出の場合、本機関より市場退出内容が通知された後、「容量市場業務マニュアル (実需給前に実施すべき業務(全般)編)(対象実需給年度:2027年度)」の第2章 2.6と第3章を参照し、手続きを行ってください。ただし、2026年2月に実効性 テストを実施し、3月10日までに発動実績が報告できない場合、本機関へその旨 を申し出てください。

また、上記の場合、容量確保契約書を締結していない発動指令電源は、調達オー クションの参加や、差替契約の締結が不可能となります。

注3:実需給年度中の発動実績の報告方法、提出期限については実需給を対象とした業 務マニュアルで別途お知らせします。

3.3.2.1 事前準備

発動実績算定諸元一覧(EXCELファイル)(様式10)を作成します。発動実績算定諸 元一覧の作成単位は、電源等リスト単位です。

発動実績算定諸元一覧は本機関のホームページの容量市場のページ⁵よりダウンロードの上、必要な項目を入力します(表 3-4、表 3-5、表 3-6、表 3-7、表 3-8 参照)。

実効性テストによる発動実績を報告する場合には、夏季もしくは冬季の実効性テスト の実施結果を入力します。再テストを実施している場合には、対象事業者が任意に選 択した再テストを含む実効性テストの実施結果を選択できます。また、他の発動実績 を代替して報告することも可能です。

作成した発動実績算定諸元一覧のファイル名は、「「エリア_発動実績_事業者コード」 対象実需給年度_電源等識別番号_A 枝番(ファイルを分割して提出する場合のみ)_R 改訂回数.xlsx」」としてください。なお、ファイルサイズが、4MB を超える、もしく は内訳が 10,000 件を超える場合には、ファイルを分割し、提出してください。

例) ファイルを分割しない(実績が1個のファイルになる)場合

東京_発動実績 ┗━━┛	_0123_	_2027_012	23456789_	_R0. x1sx
エリア	事業者	対象実	電源等	R改定番号
	7-1	而稻年度	識別番方	※枝番は不要です

例) ファイルを分割する(実績が2個のファイルになる場合

•1個目	東京_発動実績 ┗━┛	_0123_	_2027_01	2345678	9_A1_RO.x1sx
	エリア	事業者 コード	対象実 需給年度	電源等 識別番号	—— A 枝番 R 改定番号
・2 個目	東京_発動実績 ┗━━┛	_0123_	_2027_01	2345678	9_A2_R0.xlsx
	エリア	事業者 コード	対象実 需給年度	電源等 識別番号	A 枝番 R 改定番号 ※枝番を付けてください。

 $^{^{\}rm 5}$ https://www.occto.or.jp/market-board/market/index.html

注1:他の発動実績の報告について

具体的な代替可能となる実績は、実効性テストの実施年度の一般送配電事業者からの発動指令の対応の実績が有効となります。例えば、対象実需給年度が2027年度の場合、2025年度に発動された発動指令の実績が報告の対象になります。

他の発動実績を代替として利用する場合、電源等リストに記載されている全ての 地点が、同一指令(一般送配電事業者からの同一期間に対する指令)に応じた電 源等である必要があります。

他の発動実績を容量市場システムに提出していただく際は、『3.3.2.2 発動実績の 登録内容の入力』をご参照ください。

注2:2日連続で実効性テストを実施した場合について

実効性テスト未達成量の1日目、2日目、および2日間の平均値のいずれかを、対 象事業者が選択の上、本機関に提出いただきます。ただし、2日間の平均値を選択 した場合は1日目、2日目の発動実績等についても報告いただきます。

No.	項目	留意点
1	容量を提供する電源等の区分	「発動指令電源」と記入
2	事業者名	電源等リストに記入した事業者名を記入
3	事業者コード	電源等リストに記入した事業者コードを
		記入
4	電源等リストの名称	電源等リストに記入した電源等リストの
		名称を記入
5	エリア名	電源等リストに記入したエリア名を記入
6	(リスト単位の)系統コード	電源等リストに記入した(リスト単位の)
		系統コードを記入
\bigcirc	発動開始日時	発動開始日時を記入
	応札容量または期待容量[kW]	容量確保契約書を締結している場合はメイ
		ンオークションにおける応札容量※を記
		入。容量確保契約書を締結していない場合
8		は容量市場システムに登録した電源等リス
		ト単位の期待容量を記入。
		※容量確保契約容量は発動指令電源の調整
		係数反映後の値のため記載しない。

表 3-4 発動実績算定諸元一覧の記載項目(発動実績シート)

No.	項目	留意点
	発動実績(電源)	発動実績算定諸元一覧が 1 ファイルの場
		合、表 3-4の記載項目(電源シート)の記
		入により自動算定。ただし、発動実績算定
		諸元一覧が 2 ファイル以上に分かれる場
9		合、2 ファイル目以降の実績を1 ファイル
		目に記入が必要。10ファイル以上に分割し
		た場合は、1ファイル目の10ファイル目分
		の実績記入欄に 10 ファイル以上分の実績
		を合算して入力。
	発動実績(需要抑制)	発動実績算定諸元一覧が 1 ファイルの場
		合、表 3-5の記載項目(需要抑制シート)
		の記入により自動算定。ただし、発動実績
		算定諸元一覧が2ファイル以上に分かれる
10		場合、2ファイル目以降の実績を1ファイ
00		ル目に記入が必要。10ファイル以上に分割
		した場合は、1ファイル目の10ファイル目
		分の実績記入欄に 10 ファイル以上分の実
		績を合算して入力。
(1)	発動実績 (合計)	
12	コマごとの達成率	
13	コマごとの未達成率	
14	コマごとのリクワイアメント未達成	の風のヨルにとり白動管学
	量[kWh]	9回の記入により日勤鼻足
(15)	リクワイアメント未達成量[kWh]	
16	実効性テスト未達成量[kW]	
(17)	期待容量(実効性テスト後)[kW]	

表 3-5 発動実績算定諸元一覧の記載項目(電源シート)

No.	項目	留意点
1	受電地点特定番号	電源等リストに記入した受電地点特定番号
		を記入
2	電源等の名称	電源等リストに記入した電源等の名称を記
		入
3	BGコード	電源等リストに記入したBGコードを記入

No.	項目	留意点
4	計量・仕訳区分	電源等リストに記入した計量・仕訳区分を
		記入(表 2-7 計量・仕訳区分
		参照)
5		「0」で固定(入力不要)
	ベースライン[kWh]	※1 地点複数応札の場合は安定電源のアセ
		スメント対象容量を記入
		属地一般送配電事業者から受領した「発電
		者の仕訳後の電力量のお知らせ」を参照し
		て記入して下さい。
6	発電量調整受電電力量[kWh]	なお、④を記入した地点については、表 3-
		6計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法
		を参照して記入して下さい。
		※6 コマ分
\bigcirc	発動実績[kWh]	⑥の記入により自動算定

表 3-6 発動実績算定諸元一覧の記載項目(需要抑制シート)

No.	項目	留意点
1	対象エリアの損失率[%]	属地一般送配電事業者の託送供給等約款を
		参照して電圧区分ごとに記入
2	需要家名	電源等リストに記入した需要家名を記入
0	零正反為	地点の供給電圧をもとに電圧区分(低圧、
0		高圧、特高)を記入
4	計量・仕訳区分	電源等リストに記入した計量・仕訳区分を
		記入(表 2-7 計量・仕訳区分参照)
		確定使用量を用いて、3.2.2.2ベースライン
5	ベースライン(需要端)[kWh]	の算定を参照して記入
		なお、部分供給の場合は全量の値を用いて
		算定したベースラインを記入
		自己託送地点の場合は小売供給分の値を用
		いて算定したベースラインを記入
		※6 コマ分

No.	項目	留意点
6	接続供給電力量(需要端)[kWh]	確定使用量を参照して記入 なお、部分供給の場合は全量の値を記入 自己託送地点の場合は小売供給分の値を記 入 ※6 コマ分
7	ベースライン(送電端)[kWh]	①③⑤の記入により自動算定
8	接続対象電力量(送電端)[kWh]	①③⑥の記入により自動算定
9	発動実績[kWh]	 ③56の記入により自動算定
10	ベースライン算定において除外した 日付	ベースライン算定における除外日として除 外した日付 (yyyy/mm/dd) を記載ください ・属地一般送配電事業者の指示に基づく過 去のDR 実施日 (対象実需給年度 2025 年度 における発動指令電源の発動日含む) ・電力需給ひっ迫警報もしくは注意報が発 令期間中に、当該エリアにおいて経済 DR が実施された場合の経済 DR 実施日※1 ・広域予備率低下に伴う供給力提供通知が された日において経済 DR を実施した場合 の経済 DR 実施日※1 ※1 実施時に本機関への申し出が必要と なります。(本マニュアル「3.2.2.2 ベー スラインの算定 注4」参照)

No.	計量·仕訳区分	留意点
1)	バイオマス(混	・以下の手順で計量値を算定する。
	焼)非 FIT 分	(1)バイオマス FIT・非 FIT ペアフラグが同じ番号の非 FIT
		分、FIT 分の計量値をコマごとに合算
		(2)合算値× (100-バイオマス比率[%]※) ÷100 によりコマ
		ごとの非 FIT 分の計量値を算出し記入する。
		※電源等リストの「バイオマス比率」欄に記入した数値
2	バイオマス(混	FIT 分の実績は零を記入(実需給年度前に FIT 制度に基づく

No.	計量 ・ 仕訳 区分	留意点
	焼) FIT 分	買取が終了する場合、またはバイオマス比率を零に変更する
		予定の場合についても①の非FIT分に実績が含まれる。)
3	差分計量 非 FIT	差分計量により仕訳された非 FIT 分の計量値であることを、
	分	BG コードにより確認し記入
4	差分計量 FIT 分	差分計量により仕訳された FIT 分の計量値であることを、BG
		コードにより確認し記入(実需給年度前に FIT 制度に基づく
		買取が終了することが前提)
5	按分計量 非 FIT	按分計量により仕訳された非 FIT 分の計量値であることを、
	分	BG コードにより確認し記入
6	按分計量 FIT 分	差分計量により仕訳された FIT 分の計量値であることを、BG
		コードにより確認し記入(実需給年度前に FIT 制度に基づく
		買取が終了することが前提)
\bigcirc	部分買取	部分買取により仕訳された計量値について、電源等リストへ
		登録した地点ごとの BG コードにより確認し記入。なお、部
		分買取により仕訳された計量値であっても、電源等リストに
		記載されていない地点 (BG コード) については、当該実績分
		は評価されません。
8	自己託送地点	発電計画により仕訳された自己託送以外の計量値であること
		を、BG コードにより確認し記入

表 3-8 需要抑制シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法

No.	計量・仕訳区分	留意点
1	部分供給 (全量)	部分供給を受けている需要家は接続供給電力量の全量を記入
2	自己託送地点	自己託送需要以外 (小売供給による需要)の接続供給電力量を 記入

注1:計量値の取得について

容量提供事業者が託送契約(接続供給契約・発電量調整供給契約等)を締結していない場合、託送契約等を締結している事業者から計量値(発電実績・需要実績)の提供を受ける環境を整えていただく必要があります。

一般送配電事業者から各地点の計量値を取得できるのは、託送契約等を締結してい る事業者であり、容量提供事業者が託送契約等を締結していない場合、一般送配電 事業者から計量値を取得することはできません。

注2:買取上限の設定について

FIT 制度において月単位での買取上限の設定を行う旨申請した上で、非バイオマ ス発電部分(FIT 買取上限の範囲外)について容量市場へ参加していただきます。 (電力・ガス基本政策小委員会 第 30 回制度検討作業部会)

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/seido_k
ento/pdf/030_04_03.pdf

注3:端数処理について

バイオマス(混焼)非 FIT 分…高圧・特高は小数点以下第1位四捨五入、低圧は 小数点以下第3位四捨五入

3.3.2.2 発動実績の登録内容の入力

容量市場システムにて、発動実績に関する項目を登録し、発動実績算定諸元一覧をア ップロードします。

容量市場システム「ポータルトップ画面」の「参加登録」タブから「期待容量情報管 理」リンクをクリックして、「期待容量情報一覧画面」へ進みます。検索したい期待 容量情報の条件を入力して、「検索」ボタンをクリックして、検索結果が「期待容量 情報一覧」に表示されます。次に、「期待容量情報一覧画面」で期待容量を変更した い電源の「期待容量番号」リンクをクリックして、「期待容量情報詳細画面」へ進み ます。

「期待容量情報詳細画面」で「変更」ボタンをクリックして、「期待容量情報変更申 込画面」へ進みます。

「期待容量情報変更申込画面」にて、必要項目の入力および書類の追加を行います。 期待容量の変更にあたっては「変更理由」欄に変更理由を記入してください(図 3-18 参照)。実効性テストによる発動実績と他の発動実績を提出する場合で「変更理 由」の入力内容が異なります(表 3-9、表 3-10 参照)。

書類の追加については、「期待容量情報変更申込画面」の「発動実績算定諸元一覧フ ァイル(追加)」の「ファイル選択」ボタンをクリックして、発動実績算定諸元一覧 (EXCEL ファイル)をアップロードします。

注:実効性テスト後の期待容量について

実効性テスト後の期待容量がアセスメント対象容量(※1)を上回る場合、容量確保 契約容量(※2)は変更されず、期待容量のみが変更されます。また、実効性テスト 後の期待容量がアセスメント対象容量を下回る場合、容量確保契約容量および期待容 量が変更されます。

なお、メインオークション時に登録していた期待容量と実効性テスト後の期待容量が 異なる場合も、上記と同様に実効性テスト後の期待容量に変更されます。

- ※1:契約電源が提供するべき供給力・メインオークションにおける応札容量(発動 指令電源の調整係数反映前の値)
- ※2:締結した容量確保契約書における契約容量(発動指令電源の調整係数反映後の 値)

容量	量市場システム	ログイン日時:2020/11/12 11:43 ユーザ名:7102担当 ア(フェーズ2)	アウト			
<u>}</u>	期待容量情報变更申込画面					
1	■ 104 > 参加夏嫁 > 新侍谷重情報官注 >	ANIF谷童194校一覧通知」> ANIF谷童1846848週回 > 知IFF谷童18462支中)2回回				
	期待容量番号	0000001413				
	事業者コード	7Y02				
参加登録申請者名 事業部						
	電源等識別番号	000001627				
	容量を提供する電源等の区分	発動指令電源(アグリゲート)				
	電源等の名称	李業者8000_党劾指令1				
	2034 2034					
	設備容量[k¥]					
	同時最大受電電力[k#]					
	エリア名	102				
	期待容量[k₩]	半角数字で入力してください。				
		100000 半角数字で入力してくださしい				
Û	変更後期待容量[k₩] *	XXXXXX				
2	2 実効性テスト・発動実績値登録 実効性テスト・発動実績値登録 実効性テスト・発動実績値登録の売了・未売了を指定してください。 ® 完了 ○未完了					
3	·変更理由 *	全角または半角文字で入力してください。 実効性テストによる発動実績(2025年夏季) 2025/08/01(金)12:00-15:00				

但中事流	
- 提出書類・	一覧

	アップロードする添付ファイルを選択してください。			
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	クリア	
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	クリア	
添付ファイル (追加)	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	クリア	
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	クリア	
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	クリア	

発動実績算定諸元一覧				
	アップロードする	発動実績算定諸元一覧ファイルを選択してく	ださい。	
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。		クリア
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	発動実績算定諸元一覧(EXCEL ファ	クリア
発動実績算定諸元一覧ファイル (追加)	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	イル)を「ファイル選択」ボタンか	クリア
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。	らアップロードしてください。	クリア
	ファイル 選択	ファイルが選択されていません。		クリア

図 3-18「期待容量情報変更申込画面」の画面イメージ

No.	項目	留意点	
		実効性テストにより算出された期待容量(実効性テスト	
1	変更後期待容量(kW)	後)(kW)を入力	
		※ 1,000kW 未満の場合も入力	
2	実効性テスト・	「完了」にチェック	
	発動実績値登録		
3		発動実績の種別、実効性テストの実施時期、発動年月日	
		および開始時刻・終了時刻を記入	
	変更理由		
		例)実効性テストによる発動実績(2025 年夏季)	
		2025/08/01 (金) 12:00-15:00	

表 3-9「期待容量情報変更申込画面」での入力・選択項目一覧 (実効性テストによる発動実績)

表 3-10「期待容量情報変更申込画面」での入力・選択項目一覧

No.	項目	留意点	
	変更後期待容量 (kW)	他の発動実績(一般送配電事業者からの発動指令の対応	
		の実績)を参照し算出された電源等リスト全体の期待容	
		量(送電端換算値)(kW)を入力	
1		なお、発動実績を算定済みではない場合、『3.2.2 発動実	
		績の算定』を参照し他の発動実績を算定してください	
		※1,000kW 未満の場合も入力	
2	実効性テスト・発動実		
	績値登録	「元」」にアェック	
3		発動実績の種別、他の発動実績の基になる発動指令の発	
		動年月日および開始時刻・終了時刻を記入	
	変更理由		
		例)他の発動実績(2025 年発動)	
		2025/08/15(金) 12:00-15:00	

(他の発動実績)

3.3.2.3 発動実績の登録の仮申込

入力完了後、内容を確認し「確認」ボタンをクリックして、「期待容量情報変更申込 確認画面」へ進みます。 「期待容量変更申込確認画面」にて、入力内容を再度確認します。申請内容に誤りが ない場合は「実行」ボタンをクリックし、「完了画面」に進みます。申請内容を修正 する場合は、「戻る」ボタンをクリックして、「期待容量変更申込画面」に戻ります。

注:申込の手続きについて

なお、この段階では仮申込の状態であり、登録の申込は完了していませんので注 意してください。

3.3.2.4 発動実績の登録の申込完了

仮申込の状態から申込を完了させるためには、「ポータルトップ画面」から「審査」 タブの「期待容量情報審査管理」をクリックし、「期待容量情報審査画面」へ進みま す。

「期待容量情報審査画面」で検索したい期待容量情報の条件を入力して、「検索」ボ タンをクリックします。検索結果が「審査申込状況一覧」に表示されます。「申込 ID」リンクをクリックして「期待容量申込情報画面」で内容を確認できます。「期待 容量情報審査画面」でチェックボックスにチェックを入れ、「申込完了」ボタンをク リックします。申込が完了すると、その旨が、登録されたメールアドレスへ電子メー ルにて送付されます。

なお、当該申込の審査が始まる前に限り、申込の取下げが可能です。「審査申込状況一 覧」にて「詳細」リンクをクリックして、「期待容量情報審査詳細画面」で「申込情報 取下げ」ボタンをクリックすることで、申込が取下げられます。

3.3.3 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果一致)

本項では、発動実績に関する審査結果の確認の手続きを説明します(図 3-19 参照)。 対象事業者が申告した発動実績値が本機関の発動実績の算定値と一致した場合、審査 結果および期待容量の変更登録が完了した旨の通知が送付されます。

3.3.3.1 審査結果等の通知の受領(発動実績の登録申込)



図 3-19 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果一致)

3.3.3.1 審査結果等の通知の受領(発動実績の登録申込)

発動実績の審査完了後、審査結果を通知するため、3.3.2.4 発動実績の登録の申込完 了で登録された期待容量の申込情報を本機関で変更します。(本機関による変更の際 も、申込が完了すると、その旨が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付さ れます。)変更の際に「変更後期待容量」欄へ本機関にて評価した期待容量を入力 し、提出された発動実績算定諸元一覧(EXCELファイル)と合わせて、本機関による 発動実績の審査結果(CSVファイル)を容量市場システムにアップロードしますので、 期待容量の登録が完了した旨が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付され ましたら、内容を確認してください。

注:期待容量の値に基づく対応について

容量確保契約書を締結済の発動指令電源は、実効性テスト後の期待容量に発動指 令電源の調整係数を反映した値が1,000kW未満である場合、市場退出(全量退 出)となります。また、実効性テスト後の期待容量に発動指令電源の調整係数を 反映した値が1,000kWを上回っているものの容量確保契約容量を下回っている場 合、容量確保契約容量と実効性テスト後の期待容量に発動指令電源の調整係数を 反映した値の差分が市場退出(部分退出)となります。本機関より市場退出内容 が通知された後、「容量市場業務マニュアル(実需給前に実施すべき業務(全般) 編)(対象実需給年度:2027年度)」の第2章2.6と第3章を参照し、すみやか に手続きを行ってください。2026年4月10日までに市場退出の手続きがされな い場合、本機関により市場退出の手続きを行います。 容量確保契約書を締結していない発動指令電源について、実効性テスト後の期待 容量に発動指令電源の調整係数を反映した値が1,000kW未満であった場合、調達 オークションへの参加や、差替先としての電源等差替ができません。

3.3.4 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果不一致)

本項では、発動実績に関する審査結果の確認の手続きを説明します(図 3-20 参照)。 対象事業者が申告した発動実績値が本機関の発動実績の算定値と一致しなかった場 合、審査結果および期待容量の変更登録が否認された旨の通知が送付されます。

3.3.4.1 審査結果等の通知の受領(発動実績の登録申込)



図 3-20 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果不一致)

3.3.4.1 審査結果等の通知の受領(発動実績の登録申込)

発動実績の審査完了後、審査結果を通知するため、3.3.2.4 発動実績の登録の申込完 了で登録された期待容量の申込情報を本機関で変更します。(本機関による変更の際 も、申込が完了すると、その旨が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付さ れます。)変更の際に「変更後期待容量」欄へ本機関にて評価した期待容量を入力 し、提出された発動実績算定諸元一覧(EXCELファイル)と合わせて、本機関による 発動実績の審査結果(CSVファイル)を容量市場システムにアップロードしますので、 否認された旨の通知が登録されたメールアドレスへ電子メールにて送付されました ら、内容を確認してください。

なお、不一致の理由は「期待容量情報審査詳細画面」で確認できます。 容量市場システム「ポータルトップ画面」の「審査」タブから「期待容量審査情報管 理」リンクをクリックして、「期待容量情報審査画面」へ進みます。

「期待容量情報審査画面」で、検索したい期待容量情報の条件を入力して、「検索」 ボタンをクリックすると、検索結果が「審査申込状況一覧」に表示されます。

審査結果が不合格となっている期待容量情報の「詳細」リンクをクリックして「期待 容量情報審査詳細画面」に進み、「審査内容一覧」の審査コメントを確認します。審
い場合、本機関へその旨を申し出てください。

査コメントを踏まえて、再度『3.3.2 発動実績の報告』の手続きを実施してください。

注:発動実績に関する報告内容の不備が解消されない場合の対応について 発動実績に関する報告内容の不備が解消されない場合、容量確保契約書を締結済の 発動指令電源は市場退出(全量退出)となりますので、注意してください。市場退 出の場合、本機関より市場退出内容が通知された後、「容量市場業務マニュアル(実 需給前に実施すべき業務(全般)編)(対象実需給年度:2027年度)」の第2章2.6 と第3章を参照し、手続きを行ってください。2026年4月10日までに不備が解消 されない場合、本機関により市場退出の手続きを行います。 ただし、2026年2月に実効性テストを実施し、4月10日までに不備が解消できな

また、上記の場合、容量確保契約書を締結していない発動指令電源は、調達オーク ションの参加や、電源等差替ができません。

Appendix.1 様式一覧

様式1	発電事業届出書
様式2	電気工作物変更届出書
様式3	自家用電気工作物使用開始届出書
様式 4	特定自家用電気工作物接続届出書
様式 5	接続検討回答書
様式 6	工事計画届出書
様式7	発電量調整供給契約にもとづく受電地点明細表
様式 8	再生可能エネルギー発電設備を用いた発電の認定について(通知)
様式 9	電源等リスト
様式 10	発動実績算定諸元一覧

様式1 発電事業届出書

様式第 31 の 17 (第 45 条の 19 関係)

発電事業届出書

年 月 日

殿

住所 氏名(名称及び代表者の氏名) 印

次のとおり発電事業を営みたいので、電気事業法第 27 条の 27 第1項の規定により届け 出ます。

										備考
主たる営	業所			名称						-
				所仕地						-
その他の	営業所			名称						-
	1		1	所在地						-
	発電所の名称	設置の場所 (都道府県 市区町村を 記載するこ と。)	原動 力の 種類	周波数	出力	特定発 電用電 気工作 物の出 力	特定発 電用電 気工作 物の援 大 電力	供給 の相 手方	供給の 内容	
発電事業の用に供する										-
発 専ら自己の消費の										
ス工作物										
事業開始	の予定年月日]
電話番号	、電子メールアド	レスその他の連絡	格先							
	I I me art		Mr. m. le i Li i		10.00.10.00		2. 444.4	1000 x	(d) 1	

備考 1 水力発電所の場合は、常時出力及び常時せん頭出力を備考欄に記載すること。2 一般送配電事業者にその一般送配電事業の用に供するための電気を発電し、当

該電気を供給することを約している場合にあっては、その供給の相手方及びその

様式 2 電気工作物変更届出書

電気工作物変更届出書

年 月 日

殿

住所 氏名(名称及び代表者の氏名)

次のとおり電気工作物の変更をしたい(変更をした)ので、電気事業法第9条第1項 (第9条第2項)の規定により届け出ます。

電気事	業の用に供する電気工作物	変 更 前	変更後	備 考
発 電	設置の場所(都道府県郡市			
電気	区町村を記載すること。)			
	原動力の種類	Î		
^用 作	周 波 数			
の物	出 カ			
変 電	設置の場所(都道府県郡市			
電気	区町村を記載すること。)			
用作	周 波 数			
の物	出 カ			
送	設置の場所(都道府県郡市			
電	区町村を記載すること。)			
 の	電気方式	;		
電	設置の方法			
気	回 線 数			
作	周 波 数			
物	電 圧			
配電	電気方式			
電気	周 波 数	:		
^田 作 の物	電 <u>圧</u>			

備考1 水力発電所の場合は、常時出力及び常時せん頭出力を備考欄に記載すること。

2 送電線路の回線数が設計回線数と異なる場合は、設計回線数を備考欄に記載する こと。

3 送電線路の電圧が設計電圧と異なる場合は、設計電圧を備考欄に記載すること。

4 当該項目のない欄は、省略すること。

5 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。

様式3 自家用電気工作物使用開始届出書

様式第60 (別紙7) 自家用電気工作物使用開始届出書 番 号 合和 年 月 日 殿 (〒 -) 住 所 氏 名(名称及び代表者の氏名) (法人番号:)

次のとおり自家用電気工作物の使用を開始したので、電気事業法第53条の規定により届け出ます。

	事業場の名称
電気 上 作 物 を 設 置 す る 事業場の名称及び所在地	事業場の所在地(〒 –)
	最大電力 kW 受電電圧 kV
電気工作物の概要	非常用予備発電装置 電圧 V、出力 kW
	供給変電所変電所
	から譲り受け(借り受け)
使用開始年月日	令和 年 月 日

(備考)1. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2. 代表者の押印は、省略可能。

様式4 特定自家用電気工作物接続届出書

様式第31の25(第45条の28関係)

特定自家用電気工作物接続届出書

年 月 日

殿

住所 氏名(名称及び代表者の氏名) 印

次のとおり特定自家用電気工作物と一般送配電事業者の電線路とを電気的に接続したの で、電気事業法第28条の3第1項の規定により届け出ます。

発電所の名称	設置の場所(都道 府県市区町村を 記載すること。)	原 動 力 の 種 類	周波数	出力	用途(常 用・非常用 の別)	逆潮流防止 装置の有無	備考
電話番号 1	電子メールアドレス	その他の道	[絡先				

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

様式 5 接続検討回答書

別添

接続検討回答書 (高圧版)

様式 AP8-20181001 年 月 日

回答日

1. 申込者等の概要

申込者	
検討者	

2. 接続検討の申込内容

発電者の名称	
発電場所 (住所)	
最大受電電力	
アクセス設備の運用開始希望日	

3. 接続検討結果

(1)希望受電電力に対する連系可否

(a)連系可否:可・否 (※但し、「(5)申込者に必要な対策」が必要となります)

- (b) (連系否の場合) 否とする理由:
- (c) (連系否の場合) 代替案または代替案を示せない理由:
- (d) (連系否の場合) 連系可能な最大受電電力:

(2) 系統連系工事の概要(工事費負担金工事以外も含めた全ての工事)

(a)工事概要図

(b)連系点・送電線ルートの選定理由:

(c)工事の必要性と設備規模:

Ⅰ 秘密情報 目的外使用・第三者への開示を禁止します ○○電力株式会社 電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実効性テスト 編 Appendix.1 様式一覧

様式6 工事計画届出書

(事業場番号)

工事計画届出書



電気事業法第48条第1項の規定により別紙工事計画書のとおり工事の計画を届け出ます。

様式7 発電量調整供給契約にもとづく受電地点明細表

受 鼈 地 点 明 細 妻 (高圧以上)																			
No.	受電地点特定委号	受電地点特定委号 発電者 発電場所 受電地点 契約 同時最大 受電電力 受電電力				予備送電 サービスA 契約電力	予備送電 契約電力	サービスB 受賞意用	受電方式	電方式 周接数 受電電圧		計量電圧	発電BL名称	発電80>-}*	FIT対象	契約適用開始日	基準検針日	その他特配事項	
_																			
	<u> </u>						L												
1																			
1							受	電	i 1	h.	点	明	;	钿	表(高圧し	头上)		
ł	必需抽占)	法定釆早		欢雷去			彩色	9 担 所				四	雪椒	占		±n (24	E I III	
	又电地而	口化田勺		元电伯			76 4	B-307/21				×	12.40	A		兴和	影力	回時	「取人 ≧雪力
																又电	-E/J	又电	电力
_																			



様式8 再生可能エネルギー発電設備を用いた発電の認定について(通知)

様式8 再生可能エネルギー発電設備を用いた発電の認定について(通知)



電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実効性テスト 編 Appendix.1 様式一覧

様式9 電源等リスト

入力シート

電源等リスト

·入力は、10,000件までとなっております。10,000件を超える場合には、別ファイルを作成してください。

	⇒入力頂くセルとなります。	⇒「エリアを確認して」		
項目	入力欄	ください」 というメッ	項目(事業者の連絡先)	入力
実需給年度		セージかでよしたら糸 練コードレエリアタ友	住所	
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源	確認願います。	事業者名	
電源等リストの名称			前署	
(リスト単位の)系統コード			担当者名	
エリア名			電話番号	
事業者コード			メールアドレス	

・系統コードが発播されていない新設電源・
 需要抑制は入力不要
 ・系統コードが発播されていない家庭用の低
 圧連系の電源等は低圧群コードを入力

1Image: state of the state of th	
2Image: space of the space of th	
3AA	
4MM	
5 9	
6 9	
7 9	
8 9	
9	
10	
11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
12	
13	
14 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	

 小数点第1位まで入力(小数点第2位以下は切り捨て) (需要抑制の場合は記入不要) 	電源のみ記載 (需要抑制は記入不 要) ・YYYYMMで記載 (例:202101)		・発電の場合は発電BGコードを記載。需要抑制の 場合、需要BGコードは記載不要。 ・電源等リスト登録時に実需給時点の発電BGコー ドが不明の場合は、入力不要(但し、対象実需給 年度の前(時期は別途公表)までに入力要)	・対象電源のみ記入 ・需要抑制は記入不要	 ・対象電源のみ入力 ・YYYYMMで記載 (例:202101) ・需要抑制は記入不要 				記入不要	・特記事項があれば記入
設備容量[kW]	運開年月	計量·仕訳区分	BG⊐−ド	FIT認定ID	特定契約終了年月	予備	バイオマス比率[%]	バイオマスFIT・非FITペアフラグ	予備	特記事項

電源の場合は入力不要

様式 10 発動実績算定諸元一覧

発動実績シート

様式10 発動実績算定諸元一覧 →入力頂(セルトのはま

項目	入力樹				自动算	定档				自動算定機							自動調	実効性テ	実効性テスト時のみ有効				
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源	[ಇನನೆ೭	の速成率			コマごとの未達成率						コマごとのリクワイアメント未達成呈[kWh]						リクワイアメント未達成呈[kWh]	実効性テスト未達成量[kW]	期待容量(実効性テスト後)[kW]
事業者名		1	1日7日	237日	3378	4コマ目	537B	6378	137日	237日	3日マ日	437日	537B	6378	137日	237日	3078	437日	537日	6378	1		
事業者コード		[#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
電源等リストの名称																							
IJ78																							
(リスト単位の)系統コード		_	自动算之机 自动算之机 自动算之机													_							
発動開始日時		[発動実績(合計) [kWh]				免劲実績(電源)[kWh]					免劲実結(密要抑制)[kWh]]		
応机容量素加限制待容量[kW]		[137日	217日	307日	437日	日25日	6378	137日	217日	3378	4日7日	117日	6378	137日	217日	3348	4日マ目	517B	6378]		
注意事項			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
 「応札容量または期待容量[kW 容量確保契約書の締結状況に応 容量確保契約書を締結済:メ 	A」は当該電波の 5 じて以下の通り記入する。 (インオークション時の応礼	.幕皇※そ記	λ					注意事項	※1電源等リストに	つき、免劫実績が	(複数のファイルに)	汚る場合は、1 フ	- アイル日の発動実証) シートのみ2ファ・	イル目以降の実績を	以下の機に手入力に	頂います。				-		
容量確保契約書を未締結:容 ※容量確保契約容量は免動指令	第三市場システムに登録した 3回辺の調整係数反映後の値	:電波等リス [のため記載	ト単位の期待容量 しないようにして	を記入 ください。					(2ファイル目)		免劲実績	- kWh価を入力 [(電源)					kWh1 発動実績(iを入力 密要抑制)			1		
				-					12-2	(m	(m		(20-20)	(2.2)	1200	(m-1)	(mark)	477-7	(m.)	(200	1		

		免动実	(電源)		免紛天証(密受印制)											
137日	237日	3日7日	4コマ日	5378	6378	137日	237日	3378	437日	5378	6378					
(3ファイル目)			kWh価を入力					- kWh	値を入力							
発動実績(電源)								発動実績	(密要抑制)							
137日	217日	3日7日	4コマ日	537B	6378	137日	217日	317日	437日	5178	6378					
									T T T t							
(477イル目) 24/19年4月 (月) (月) (月) (月) (月) (月) (月) (月) (月) (月			- kWh10全人刀					- KWN 26/25/92/25	<u>川で入力</u> ((四面加ac))							
免到美顏(電源)	22.20	122-20		67.0	(77)	1700	200-00	9230天和1	(密安如明)	(200	(200					
TIAE	214日	314日	414日	214日	PT4H	TIAE	214日	3774	414日	2741	PTAE					
(5ファイル目)			kWb価を入力					- kWh	価を入力							
		免動実績	5 (電波)					免劫実結	(雷亨抑制)							
137日	2378	3078	4그국日	5378	6378	1378	2378	3078	4그국日	5378	6378					
(6ファイル目)			- kWh価を入力					- kWh	値を入力							
発動実績(電源)								発動実績	(密要抑制)							
137日	217日	3日7日	4コマ日	5378	6378	137日	217日	3378	4コマ日	5378	6378					
(7ファイル目)			- kWh価を入力					- kWh	値を入力							
免劲実績(電源)								免奶夹瓶	(密要抑制)							
137日	2178	3078	4378	2148	614H	1378	ZIRH	3148	4378	2148	6348					
(2ファイル目)			- NMN (6 考 3 力					- PMP	価考入力							
		免動実績	[(電波)					免劲実話	(雷亨抑制)							
1778	2178	3078	4378	5778	6378	1778	2178	3078	4378	5778	6378					
(9ファイル目)			- kWh価を入力					- kWh	値を入力							
発動実績(電源)								免動実績	(密要抑制)							
137日	217日	3日7日	437日	517B	6378	137日	217日	307日	437日	517B	6378					
(10ファイル目)※			- kWh値を入	<u>л</u>				- kWh	値を入力							
		発動実績	[(電源)					免劲実績	(密要抑制)							
137日	217日	3日7日	437日	5348	6348	137日	237日	3日7日	437日	2348	6378					

※10ファイル目以降の免防実績がある場合は、10ファイル目以降の合質価を入力

電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実効性テスト 編 Appendix.1 様式一覧

電源シート

発動実績算定諸元一覧

<u>入力は、10,000件までとなっ</u>	ております。10,000件を超える場合には、別ファイルを作成してください。

⇒入力頂くセルとなります。

項目	入力欄
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源(電源)
事業者名	
事業者コード	
電源等リストの名称	
エリア名	
(リスト単位の)系統コード	
発動開始日時	

注意 亊項	・電源等リストに電源として 登録した地点を全て記載	・同左	・同左	・同左		 1地点複数// アセスメン 	5札地点の場合 /ト対象容量を	、安定電源とし 入力、それ以外	しての当該月の 外は0を入力	0			• kWh	直を入力				
No	马士地占结定五年	玉酒笙の夕称	BG7-5				ペースライ	イン[kWh]			発電量調整受電電力量[kWh]							
NO.	文电码机行在留与	电波寺の石が	001-1		1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目		
1					0	0	0	0	0	0								
2					0	0	0	0	0	0								
3					0	0	0	0	0	0								
4					0	0	0	0	0	0								
5					0	0	0	0	0	0								
6					0	0	0	0	0	0								

		発動実績	責[kWh]		
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

・自動算定欄

需要抑制シート

発動実績算定諸元一覧 -入力は、10.000件までとなっております。10.000件を超える場合には、別ファイルを作成してください。 →入力派くセルとなります。
 項目
 入力僕

 新量考理代する電差時の区分
 先転換音電差(勇美於板)

 事業者名
 事業者3-F*

 電差時12-F*
 電差時12-F*

 電差時12-F*
 電差時12-F*

 取用
 (以大)出税の)系統コード

 数期換合時

 電圧区分 対象エリアの損失率[%]

注意 ・電源等リストに需要抑制とし - 同左 専項 て登録した地点を全て形戦 ・kWh値を入力 ・high 4 of 5での計算値(端数処弾は行わない) 同左
 ・同左

・kWh値を入力

自動算定構

自動算定構

No	attitude to a state of the local state.	田平安 4	BC 74	計畫,并1074			ペースライン	(廣夏塢) [kW	h]			1	此続供給電力量	(冊夏鎬)[kW	h]				ベースライン (3	芝電塘) [kWh]				技	統対象電力量	(送電谱) [kW	h]				発動実績	[kWh]		
1967	VUICESWITCH, III-5	100000	distray)	81 ML 11 N (35.7)	137日	237日	3日7日	4コマ目	537日	6日7日	137日	217日	3日7日	4コマ目	537日 日	637日	137日	237日	3日7日	4日マ日	5378	637日	137日	2コマ目	3日7日	437日	5378	6日7日	137日	237日	3日7日	4日マ目	5378	637日 :
1																																		
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		
6																																		
7						L														-														
8						<u> </u>							<u> </u>						<u> </u>	l								l	l					
9						<u> </u>							<u> </u>							l								l	l					
10			 			<u> </u>							<u> </u>						<u> </u>							<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>					
11			<u> </u>																									<u> </u>	<u> </u>					
12																												-						
12						<u> </u>			<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>					l															
1.5							<u> </u>						<u> </u>						<u> </u>				<u> </u>			l								
14																																		
10																				<u> </u>								<u> </u>						
10								L											l	l								L	l					
1/																				<u> </u>			<u> </u>					<u> </u>						
18						L	L	L					<u> </u>						l	l		l	<u> </u>					L	L					
19																			<u> </u>	L														
20																																		
21																																		
22																			L		L													
23																																		

ペースライン算定において除外した日付 (yyyy/mm/dd) 除外日1 除外日2 除外日3 除外日4 除外日5 除外日6 除外日7 除外日8 除外日9 除外日10

BEAL T	MT7FHZ	N#7143	RE714	REFELD D	HE TE LO	HTTP://	R#7FLIO	N22113	N#7FH 10

Appendix.2 図表一覧

义	1-1 実効性テストの手続きの全体像とスケジュール	5
义	1-2 実効性テストに係る手続き	6
义	1-3 本業務マニュアルの構成(第1章除く)	.11
义	2−1 第 2 章の構成	12
义	2-2 電源等リストの登録手続きの詳細構成	.13
义	2−3 電源等リストの提出依頼の確認	.13
义	2-4 電源等リストの登録申込	.14
义	2-5「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ	29
义	2-6 電源等リストの審査結果の確認(合格)	.31
义	2-7 電源等リストの審査結果の確認(不合格)	32
义	2-8 電源等リストの変更手続きの詳細構成	.34
义	2-9 電源等リストの変更申込	36
义	2-10 電源等リストの審査結果の確認(合格)	.37
义	2-11 電源等リストの審査結果の確認(不合格)	.38
义	3-1 第 3 章の構成	.39
义	3-2 実効性テスト前手続きの詳細構成	.40
义	3−3 実効性テスト実施時期の調整開始依頼の確認	.40
义	3-4 実効性テスト実施時期の調整依頼	.41
义	3-5 実効性テスト実施時期の通知の確認	.41
义	3-6 実効性テスト実施時期の登録	.42
义	3-7「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ	.43
义	3-8 実効性テストの実施の詳細構成	.45
义	3-9 実効性テストの実施指令への対応	.45
义	3-10 発動実績の算定	.46
义	3-11 平日のベースライン設定における除外日のイメージ図	50
义	3-12 再テスト実施有無の検討	53
义	3-13「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ	54
义	3-14「電源等情報変更申込画面」の画面イメージ	57
义	3-15 実効性テスト後手続きの詳細構成	58
义	3-16 発動実績の報告依頼の確認	.58
义	3-17 発動実績の報告	.59
义	3-18「期待容量情報変更申込画面」の画面イメージ	68
义	3-19 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果一致)	.71
义	3-20 発動実績に関する審査結果の確認(突合結果不一致)	72

表 2-1 発動指令電源(電源)に係る提出書類一覧16
表 2-2 発動指令電源(需要抑制)に係る提出書類一覧17
表 2-3 電源等リストの記載項目一覧(共通)19
表 2-4 電源等リストの記載項目一覧(電源)20
表 2-5 電源等リストの記載項目一覧(需要抑制)25
表 2-6 電源種別の区分と発電方式の区分に係る注意事項
表 2-7 計量・仕訳区分
表 2-8 電源等リスト提出時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目
表 3-1 実効性テスト実施時期の登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目43
表 3-2 再テスト希望登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目55
表 3-3 再テスト希望登録時の「電源等情報変更申込画面」での入力項目
表 3-4 発動実績算定諸元一覧の記載項目(発動実績シート)
表 3-5 発動実績算定諸元一覧の記載項目(電源シート)62
表 3-6 発動実績算定諸元一覧の記載項目(需要抑制シート)
表 3-7 電源シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法
表 3-8 需要抑制シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法
表 3-9「期待容量情報変更申込画面」での入力・選択項目一覧 (実効性テストによる
発動実績)69
表 3-10「期待容量情報変更申込画面」での入力・選択項目一覧 (他の発動実績).69

Appendix.3業務手順全体図









